政策目標 4 うるおい・雄武~生活環境·生活基盤の充実~	会計区分	1 <mark>一般会計</mark>	【全体計画内容】 ※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策 21 情報通信網の整備・充実	<u> </u>		[工作日日7日] 从前州关池日日州间八〇日日州间6日,6岁日〇〇日载
単位施策 2 行政情報化の推進	事業優先度	В	
事業名 住民基本台帳ネットワークシステム事業	政策事務分類	4 法定自治事務	
2 12 14 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	見 直 し 年 度		
事業期間 平成20年度~平成24年度	担当課	4 住民生活課	
事業主体町	関 係 課	#N/A	
事業指標 機器賃貸借及び保守点検、住基カード発行枚数	月 床 味	#N/A	
事業目標 保守点検(サーバー:1台、端末機:1台)2回、カード発行20枚	ハード/ソフト 事業区分	1 <mark>ハード事業</mark>	
住民参加 。	関 係 例 規・法 令 名	2 住民基本台帳法	
住民協働	関係個別計画名		

		全	体	計	画		平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
計画内容	よる ・サー ・機器	 事 :民基本台帕 る住民負担 バ・端末機: 賃貸借及び 基本台帳力	業 長ネットワ の軽減、 器更新 が保守委	内 アークへ 住民サー 託	容 の参加継	向上	事業内容 サーバ・端末機器更新機器賃貸借及び保守委託	事 業 内 容 機器賃貸借及び保守委託	事 業 内 容 機器賃貸借及び保守委託	事 業 内 容 機器賃貸借及び保守委託	事業内容 機器賃貸借及び保守委託 住民基本台帳カード発行
	事	業費	(千円)			15,664	3,064	4 3,150	3,150	3,150	3,150
計画事業費	財源内訳	国庫支 道 支 b 地 方	出金 出金 債 他			0 0 0 961 14,703	96° 2,10°	1			
実績事	事財		(千円) 出金 出金			15,011	2,986	•		·	
業 費 ———	内 訳	世 万 そ の 一 般 則 定財源の詳	他 才 源			0 15,011	2,986	3,020 (実施内容等)	3,006	3,002	2,997 (実施内容等)
関連	् (तेर्च <i>)</i>	<i>╚▐┪╜</i> 録Ⅵ群	孙四 守 <i>)</i>	【評	価・実	《 績】	サーバ・端末機器更新機器賃貸借及び保守委託	機器賃貸借及び保守委託 (保守点検2回実施) 住民基本台帳カード発行(17枚)	機器賃貸借及び保守委託 (保守点検2回実施) 住民基本台帳カード発行(12枚)	機器賃貸借及び保守委託 (保守点検2回実施) 住民基本台帳カード発行(7枚)	(美施内谷等) 機器賃貸借及び保守委託 (保守点検2回実施) 住民基本台帳カード発行(3枚) ※前年度評価結果
事項	第4	期総合計画			度目標	톝	※前年度評価結果 A一継続/現状維持 サーバー:1台、端末機:1台		A一継続/現状維持 保守点検2回、住基カード発行20枚		A一継続/現状維持 保守点検2回、住基カード発行202
		(継続有り)		度達成		979		95% 58%	95% 77%	
					体達成		199				
				手	業進捗	人沉	*	***	***	$^{\diamond}$	***

評価者 管理職 職氏名 住民生活課長 渡邊孝司 事業名 住民基本台帳ネットワークシステム事業 評価者 作成者 職氏名 戸籍住民係長 大水麻理

平成24年度実施 平成25年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民		望ましい指標(目的達成状況を 最も端的に表す理論上の成果指	機器の保守点検回数及び住基力	ード発行枚数	
【抱える課題やニーズは】	電子手続きの拡充及び住基カードの機能向上による電子	標) 指標(指標計算式/解説) ① 保守点検実施回数	目標値及 目標年度 目標値	び 実 績 値 平成24 年度 2 回		
【どのような状態になることを 目指したのか(意図)】	行政事務の電子化を進めるため、システムの安定した稼む	機器及び定期点検 の実施回数	実績 値 達成 度 目標 年度	2回 100.0 % 平成24 年度		
	行政手続きの電子化を進めることにより、住民負担の軽減 たい。	住基カード発行枚数平成15年度~24年度までの平均発行枚数(18枚/年度)	日 標 値 実 績 値 達 成 度	20 18 90.0 %		
	サーバ、端末機器の賃貸借及び保守委託、運用	サーバ及び端末機器を賃借し、	年2回、業者委託により保守点検を	実施し、各種システム処理を行っ	<i>t</i> =。	
【内容(どのような手段で何を 行ったか】	住民基本台帳カードの発行	町民からの申請に基づき、住民でいる。	そからの申請に基づき、住民基本台帳カードの交付を行った。なお、カードの作成については、(財)地方自治情報センターに委託し いる。			
	北海道が保有する住基情報の活用	北海道の住基ネット独自利用条の検索が可能となったため税金	条例(H23.4.1施行)による北海道サーバ活用のための設定を行い、本町の住基ネット端末で道内転出者 金等滞納整理に活用している。			

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合 の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

_			主体・ルビしにのの方形	
	必要	√	字立 7公 H(1/ 1 + (/)	本事務は、住民基本台帳法に基づくものであり、住民票の広域交付や、転入・転出手続きの簡素化、公的年金の現況届に利用さ
	必要/概ね必要	7	全部	れるなど、町民負担の軽減、サービス向上を図る上で必要であ
	/課題あり		一部	る。

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

1-7 3 303 3 7 4 4 4	137731= (7771)	
有効	設定した目標値の達成状況	機器の保守・点検を行ったことにより、故障等によるシステム停止
行刈		等のトラブルはなく、町民サービス等、遅滞なく処理することがで
有効/概ね有効	□ <mark>ほぼ達成</mark>	きた。
/課題あり	□ <mark>下回る</mark>	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

(0) T 10 T 10 00 1	<u> </u>	<u> </u>
	判断の理由	本ネットワークシステムは、町総合行政システムにおける住民記
概ね効率的	☑ 事業費抑制	録と連動させるために、同一業者から導入し保守点検を行ってお
	□ 人員削減	り、万が一不具合が発生したとしても、早急に回復させることが可
効率的/概ね効	☑│時間短縮・作業軽減	能であり、修繕コストの抑制も図られる。
率的/課題あり	その他	

(4)事務事業の公平性

	判断の理由	本システムを利用したサービスは利用者を特定しておらず、受益
公平	☑ <mark>受益者負担がある</mark>	者負担(住基カード交付)については、町手数料条例に基づいた
	□ 受益者負担がない	発行手数料を徴収している。
公平/概ね公平	□ 受益が一部に偏る	
/公平でない	□ その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

- A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等 B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
- C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等

D: 事業効果か表れていない	<u>い。事耒の弑合、休・廃止の検討かり</u>	
自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
Α		
システム障害等のトラブルもなく、年金の現況届の簡素化等、町民負担の軽減につながっている。また、住基カードの発行により、身分証明や確定申告の電子申請にも活用されている。		
今後の展開方向 (Action)		
継続/現状維持		

継続/現状維持 本システムは電子自治体 サービスの基礎となるもので あり、住民サービスの維持・ 向上を図る上で有効な手段 であるため、今後も計画どお り事業を進めることが必要で ある。		
サービスの基礎となるものであり、住民サービスの維持・ 向上を図る上で有効な手段 であるため、今後も計画どお り事業を進めることが必要で	継続/現状維持	
	サービスの基礎となるものであり、住民サービスの維持・向上を図る上で有効な手段であるため、今後も計画どおり事業を進めることが必要である。	

※展開方向の区分

○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更

〇終了 〇休止 〇廃止

政策目標 4 <mark>うるおい・雄武~生活環境・生活基盤の充実~</mark>	会 計 区 分	1 <mark>一般会計</mark>	【全体計画内容】※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策 21 情報通信網の整備・充実 単位施策 2 行政情報化の推進	事業優先度	В	
事業名 住民基本台帳法改正対応システム改修委託事業	政策事務分類	4 法定自治事務	
事業期間 平成23年度~平成24年度	<u>見直し年度</u>	4 住民生活課	
事業主体即	関係課	1 総務課	
事業指標 住基法改正に伴うシステム改修による窓口等業務改善 事業目標 窓口業務等改善に向けたシステム改修委託数(3委託)	ハート・/ソフト 事業区分	#N/A 2 ソフト事業	1
住民参加	関 係 例 規・法 令 名	2 住民基本台帳法(一部改正	法:H21.7.15公布)
住民協働	関係個別計画名	<u> </u>	

	1717) 1243	•					另	-	-	
		全	体	計	画	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
		事	業	内	容	事 業 内 容	事 業 内 容	事 業 内 容	事 業 内 容	事業内容
計画内	·総合 •住月	民基本台帳	ム改修委i ネットワ-	ークシス	記録・外国人登録) テム改修委託 ク連携対応委託				(10,500千円) 住基ネットシステム改修委託 (5,000千円)	総合行政システム改修委託 (4,000千円) 住基ネットシステム改修委託
容										
=1	事	業費	(千円)		24,400	0	0		16,000	8,400
計	모	国庫支	出金		0					
画	財 源	道支			0					
事	源上	地方			0					
業費	内		他		0					
費	訳	一般則			24,400				16,000	8,400
	重		(千円)		23,477	0	0		0 15,571	
実績		国庫支			20,477	0	0		15,571	7,900
績	財 源	道支出			0			+		
事	源				0					
業	内				0					
費	訳		他		00.477				15.534	7,000
		一般具			23,477				15,571	
関	(特別	定財源の詳	細等)	r ≅⊽	価・実 績】	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等) 住基法改正対応システム改修 ・総合行政システム改修委託 ・住基ネットシステム改修委託	(実施内容等) 住基法改正対応システム改修・総合行政システム改修委託・住基ネットシステム改修委託
連				L ā†	叫· 天 根】					・法務省ネットワーク連携対応委託
事						※前年度評価結果	※前年度評価結果	※前年度評価結果		※前年度評価結果 A一継続/現状維持
項	第4	期総合計画			度目標値				3委託	3委託
	_	(継続無し	,)		度達成率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	97%	
				全	体達成率	0%	0%	0	64%	96%
					業進捗状況				***	አ አ አ አ

事業名	住民基本台帳法改正対応システム改修委託事業			評価者 管理職 職氏名 住民生 評価者 作成者 職氏名 戸籍任					平成24年度実施 平成25年度評価	
■事務事業	美の目的・内容(Plar	n•Do)				7 AB 17 20 17	KEC SANAMAT		1 /2/20	1 /2 11
【誰、何が(対象)】	住民基本台帳登録者に移行された)	、外国人登録台帳登録者(H24年7	月9日から外国人も住民基本台向		い指標(目的達成状況を 的に表す理論上の成果指	窓口業務等改善に	向けたシステム	ム改修委託数(3委託)	
【抱える課題	題やニーズは】	外国人住民に対する紹	窓口事務及び行政サービス提供の	あり方	協) 1	標(指標計算式/解説)		目 標 値 及 F 度 値	び 実 績 値 平成24 年度 3 委託	
【どのような状態になることを 目指したのか(意図)】 外国人住民も住民基本台帳に移行、及び転入地における何			る住民基本台帳カードの継続利用	Ħ	改修委託数(3委託)	実 績 達 成	度	3 委託 100.0 %		
【その結果、 実現したい ※成果=目		外国人登録事務の改 口事務の効率化が図	善が図られ、また住民基本台帳カ- られる。	ードの継続利用が可能となり、窓	2		目標 目標 実績 達成	F 及 値 値 度	年度 #DIV/0! %	
		システム改修委託		「既存住基システムの改修」「住業者委託により実施した。	 基ネット	システムの改修」「法務省)	国管理局とのネッ	トワーク構築」	こついて、2ヵ年かけてシ	·ステム
【内谷(との行ったか】)ような手段で何を									
(1)事務事 の支障、	、既存事業との機能	重複や見直しによる対		か。当該事業を実施しない場合 、全ての市町村が実施しなければ	_	■総合評価【A~D】 A:計画通り事業が進んでし B:ほぼ計画どおりに進んで C:当初の計画を達成できて	いるが目標を達成し	ていない。事業	の進め方に改善が必要	
必要 <mark>必要/概ね!</mark>	<u>✓</u>	義務的なもの 全部	ならない事業である。	、王(の川河川刊が天心しなけれい。	` 	D:事業効果が表れていない 自己評価(一次評価)		廃止の検討が』		·価)
<mark>/課題あり</mark> (2)事務事:		<mark>─部</mark>			┛┃	A システム改修を委託事業で				
有効/概ねる/課題あり	<mark>設定した</mark> ☑ <mark>有効</mark>	□ 目標値の達成状況 □ 達成 □ ほぼ達成 下回る	法施行日(平成24年7月9日)Ⅰ ることができた。 □	こおいて、計画どおりの対応を図	三 (実施したことにより、法施行 こ向け安全かつ確実な事務 本制を構築することができ こ。				
	業の効率性(コスト)	こ見合った効果が得られ	<i>れたか、計画上のコストを下げるエ</i>		_					
効率的		判断の理由 事業費抑制 人員関係 (************************************	★町の行政基幹システムを熟失り、システム稼動に向け効率的	ロしている業者へ委託したことに。 に事業を進めることができた。	[L	今後の展開方向				
効率的/概2 率的/課題		時間短縮·作業軽減 その他				(Action)		,		
(4)事務事	業の公平性	当所中		ろしょ 古世でもてた はハエレツ	-, -	終了				
公平		判断の理由 受益者負担がある 受益者負担がない	── 外国人を含め全ての町民を対象 ── 断する。 ──	Rとした事業でめるため公平と刊						
公平/概ねな	,\	<mark>受益が一部に偏る</mark> <mark>その他</mark>			┚╽					
■その他特	記事項(アンケート	調査など外部評価を受	けた場合は、その旨記入)		7	※展開方向の区分				
						※展開方向の区分 ○継続/現状維持又は ○終了 ○休止	は拡充又は縮小又は 〇廃止	は統合又は内容	Fの見直し·変更	

政策目標 4 <mark>うるおい・雄武~生活環境・生活基盤の充実~</mark>	会 計 区 分	1 一般会計	【全体計画内容】 ※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策 15 <mark>環境の保全 </mark>	事業優先度	В	
単位施策 3 <mark>景観形成・環境美化・公害防止の推進</mark>			
事 業 名	<u> </u>	1 単独自治事務(例規)	
事業期間 平成20年度~平成24年度	見直し年度 - 17 平 平 19 19 19 19 19 19 19 19 19 19 19 19 19	4 住民生活課	
事業主体 町	世 当 詳	#N/A	
事業指標は武斎場火葬炉施設の維持管理	関 係 課	#N/A	
事業目標適切な維持管理	ハード/ソフト 事業区分	1 ハード事業	
住民参加	関 係 例 規・法 令 名	1 ⇒	雄武町火葬場の設置及び管理に関する条例
住民協働	関係個別計画名		

		全	体	計	画		平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
		事		内	<u>- E</u> 容		事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容
計		金事業の火勢 の修繕を要す うう。					火葬炉施設修繕	火葬炉施設修繕			火葬炉施設修繕 ・斎場共通煙道耐火物全面積替 ・斎場火葬炉設備燃焼空気ブロワ交換 ・斎場火葬炉設備電気制御機器交換
画											ふ 多
内											
容											
計	事		千円)		1;	3,980	1,800	1,680	0	0	10,500
一画	財	国庫支出				0					
画事	源	道支出				0					
業	内	<u>地 方</u> そ の	<u>債</u> 他			0					
費	訳	一般財			11	3,980	1,800	1,680			10,500
	事		千円)			4,025	1,785	1,680		0	
実績	-	国庫支出				0	1,700	1,000	<u> </u>	J	10,000
積	財源	道支出				0					
事業	次	地方	債			0					
費	訳	その	他			0					
_~	ш/ С	一般則	涼		14	4,025	1,785	1,680			10,560
関連	(特 :	定財源の詳細	細等)	【評	価・実績	漬】	(実施内容等) ・1号炉主燃焼室N煉瓦張替修繕 ・2号炉主燃焼室セラミック耐火物 張替修繕	(実施内容等) ・2号炉主燃焼室N煉瓦張替修繕 ・キャリアー台車バッテリー及び 車輪の交換修理 ・コントロールモータ(3台)交換 修理	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等) 火葬炉施設修繕 ・斎場共通煙道耐火物全面積替 ・斎場火葬炉設備燃焼空気ブロワ交換 ・斎場火葬炉設備電気制御機器交換
事項	5 -	. HD 60 A = 1 =		-	_ = = = = = = = = = = = = = = = = = = =		A一継続/現状維持	A一継続/現状維持	※前年度評価結果 A一終了		※前年度評価結果
坦	第4	1期総合計画			度目標值			適切な維持管理	#D# / /O!		適切な維持管理
		(継続無し))		度達成率		99%	100%	#DIV/0!	#DIV/0!	101% 100%
					体 達 成 率 業進捗状況			25% ☆☆☆☆	25%	25%	<u>100%</u> ☆☆☆☆
				申	未些抄仏况		ииии	ммм			ииии

事業名	雄武斎場火葬炉施記	设修繕事業		評価者 管理職 職氏名 評価者 作成者 職氏名		住民生活課長 環境衛生係長		<u> </u>	平成24年度実施 平成25年度評価
■事務事業	の目的・内容(Plan	•Do)							
【誰、何が(対象)】	斎場を使用する者			望ま	しい指標(目的達成状況を 端的に表す理論上の成果指	施設の適正な	維持管理	
【抱える課題	夏やニーズは】	適切な維持管理による火葬炉の安置	定稼働		<u>標)</u> ①	指標(指標計算式/解説)	目相	目標値 <i>。</i> 票年度 標値	ひ 実 績 値 平成24 年度 3 箇所
【どのような 目指したの	状態になることを か(意図)】	利用者の利便性の確保及び安全か	つ正確な業務の遂行		2	修繕が必要な箇所	達	<u>積</u> 值 成 度	3 箇所 100.0 % 年度
【その結果、 実現したい: ※成果=目		安全な火葬の実現及び適正な火葬	業務の遂行				実達	#	#DIV/0! %
				共通煙道煉瓦積替え(耐久性に	_ [優れ	たY型煉瓦に交換)			
【内容(どの 行ったか】	ような手段で何を			燃焼空気ブロアの交換					
				電気制御(シーケンサ)交換					
(1)事務事		ーズ、・社会情勢に照らして妥当か、重複や見直しによる対応可能性)義務的なもの建設から20修繕は必要	年以上経過しており	か。当該事業を実施しない場合 、計画的な機器の更新及び施設	7		いるが目標を選 いない。事業規	達成していない。事 見模、内容、実施主	
必要/概ね』 /課題あり	<mark>必要</mark>	全部				自己評価(一次評価)		平価(二次評価)	町長評価(三次評価)
(2)事務事事 有効 有効/概ねる		る効果が得られたか) 目標値の達成状況 対応年数総 達成 きている	経過の機器及び施設 領	劣化箇所を修繕し安定稼働がで]	A 斎場における火葬炉は、地域社会において不可欠な施設であり、計画的な修繕は利用者の利便性確保及び安全な施設稼働に必要と判断			
<mark>/課題あり</mark> (3)事務事	業の効率性(コストに	<u>下回る</u> □見合った効果が得られたか、計画」 判断の理由 保守点検を		<u> </u>	_ 	する。			
概ね効率 効率的/概ね 率的/課題を	的 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	事業費抑制施設に精通		いる期間が短いため、利用にかか		今後の展開方向 (Action)	_		
(4)事務事					_	継続/現状維持			
公平/概ね	= = = = = = = = = = = = = = = = = = = =	判断の理由 火葬炉施設 受益者負担がある 判断する。 受益者負担がない 受益が一部に偏る	は、利用者を限定す	るものではないことから、公平と		斎場は建設から20年以上 経過していることから、施設 及び機器の計画的な更新は 継続して実施していく必要が			
/公平でなし	\	調査など外部評価を受けた場合は、	その旨記入)		<u></u>	ある。			
						 ※展開方向の区分 〇継続/現状維持又は 〇終了 〇休止	 は拡充又は縮小 ○廃止	、又は統合又は内	

政策目標 4 うるおい・雄武~生活環境・生活基盤の充実~	会 計 区 分	1 一般会計	【全体計画内容】※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策 15 環境の保全 単位施策 3 景観形成・環境美化・公害防止の推進	事業優先度	В	
事 業 名 雄武斎場火葬管理等業務委託事業	政 策 事 務 分 類	1 単独自治事務(例規)	
	見直し年度		
事業期間 平成20年度~平成24年度 事業主体 町		4 住民生活課 #N/A	
事業指標 適切な業務の執行率	関 係 課	#N/A	
事業目標適切な維持管理	ハート・/ソフト 事業区分	2 ソフト事業	
住民参加	関係例規・法令名	1 ⇒	雄武町火葬場の設置及び管理に関する条例
住民協働	関係個別計画名		

Ī		全	体	計	画		平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
•			業	内	<u>------------------------------------</u>		事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容
計	∙斎場	業務の執行 施設の維持 、墓園周辺	亍 持管理				・火葬業務の執行・斎場施設の維持管理・墓地、墓園周辺の環境美化	・火葬業務の執行・斎場施設の維持管理・墓地、墓園周辺の環境美化	・火葬業務の執行・斎場施設の維持管理・墓地、墓園周辺の環境美化	・火葬業務の執行・斎場施設の維持管理・墓地、墓園周辺の環境美化	・火葬業務の執行・斎場施設の維持管理・墓地、墓園周辺の環境美化
画											
内											
容											
計	事		(千円)			6,243	1,310	1,240	1,231	1,231	1,231
画	財	国庫支出				0					
事	源	道支出	出金			0					
業	内	地 方				0					
費	訳	その				0					
貝	ᆳ	一般具				6,243	1,310	1,240		1,231	1,231
宇	事		(千円)			6,240	1,310	1,240	1,230	1,230	1,230
実績	財	国庫支出				0					
事	源	道支出				0					
業	内	地方				0					
費	訳	その				0					
~	ш	一般則	才源			6,240	1,310	1,240	1,230	1,230	1,230
関連事		定財源の詳		【評		笔 績】	(実施内容等) ・火葬認可に伴う、火葬業務の執行 斎場施設の維持管理及び墓地・ 墓苑内の草刈及び清掃等周辺環 境の維持を業務内容とし、民間業 者に業務委託 ※前年度評価結果 A一継続/現状維持	A一継続/現状維持	斎場施設の維持管理及び墓地・ 墓苑内の草刈及び清掃等周辺環 境の維持を業務内容とし、民間業 者に業務委託 ※前年度評価結果 A一継続/現状維持	(実施内容等) ・火葬認可に伴う、火葬業務の執行 斎場施設の維持管理及び墓地・ 墓園内の草刈及び清掃等周辺環 境の維持を業務内容とし、民間業 者に業務委託 ※前年度評価結果 A一継続/現状維持	(実施内容等) ・火葬認可に伴う、火葬業務の執行 斎場施設の維持管理及び墓地・ 墓園内の草刈及び清掃等周辺環 境の維持を業務内容とし、民間業 者に業務委託 ※前年度評価結果 A一継続/現状維持
項	第4	期総合計画			度目標				適切な維持管理		適切な維持管理
		(継続有り)		度達原		100%	100%	100%	100%	100%
					体達原		21%	41%	61%	80%	100%
				事	業進捗	犬況	$\Rightarrow \Rightarrow \Rightarrow \Rightarrow$	$\triangle \triangle \triangle \triangle$	***	$\Delta \Delta \Delta \Delta$	☆☆☆

■事務事業の目的・内容(Plan・Do) 【誰、何が(対象)】 墓地・墓園・斎場利用者 【抱える課題やニーズは】 火葬認可申請に伴う、適切な業務の執行 【どのような状態になることを目指したのか(意図)】 適切な業務執行、施設の適正な維持管理及び運 【その結果、どのような成果を	評価者 作成者 職氏名	環境衛生係長 望ましい指標(目的達成状況を 最も端的に表す理論上の成果指 標) 指標(指標計算式/解説) ① 火葬業務数・火葬許可申	目標値及	平成25年度評価 正な維持管理
誰、何が(対象)】 墓地・墓園・斎場利用者 抱える課題やニーズは】 火葬認可申請に伴う、適切な業務の執行 どのような状態になることを 諸したのか(意図)】 適切な業務執行、施設の適正な維持管理及び運			目標値及	正な維持管理
火葬認可申請に伴う、適切な業務の執行 「のような状態になることを 指したのか(意図)」 「適切な業務執行、施設の適正な維持管理及び運			目標値及	正な維持管理
でのような状態になることを 指したのか(意図)】 適切な業務執行、施設の適正な維持管理及び運	.W.	標) 指標(指標計算式/解説) ①	目標値及	
でのような状態になることを 指したのか(意図)】 適切な業務執行、施設の適正な維持管理及び運		1		
指したのか(意図)】 適切な業務執行、施設の適正な維持管理及び連			目標年度	び 実 績 値 平成24 年度
指したのか(意図)】 適切な業務執行、施設の適正な維持管理及び連	21/	■ 火华未務致工火华計り中		100 %
指したのか(意図)】 適切な業務執行、施設の適正な維持管理及び連	222	請数×100/適切な業務の	実績値	100 %
指したのか(息図)	宮	執行率	達成度	100.0 %
たの結果、どのような成果を	_	2	目標年度	年度
この結果、とのような以来を		┫		
現したいか】 民間委託により、経費の節減及び利用者へのサ-	―ビス向 F		実 績 値	
成果=目的	こへ同主		達 成 度	#DIV/0! %
	1			
民間業者への業務委託	サービス向上及び経費節減を図	図るため、民間業者への業務委託を	 尾施	
<mark>内容(どのような手段で何を</mark>				
ったか】				
必安 ^{我伤的なもの} は、永続性、非営利性が	であり、墓地埋葬法により火葬場の経営 、求められるため、民間委託による施設の	C: 当初の計画を達成できて D: 事業効果が表れていない	いるが目標を達成していない。事業 いない。事業規模、内容、実施主体 。事業の統合、休・廃止の検討が必	本等の見直しが必要 等 <u>必要 等</u>
<mark>要/概ね必要 </mark>	重営は、経費節減等を図る上で必要であ	自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
		- A		1
)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)	**************************************	本施設は、地域社会におい		
有効 設定した目標値の達成状況 民間委託により、適正な 図 <mark>達成 ている</mark> 。	業務の執行及び事業費の抑制が図られ	アイス で不可欠な施設であり、維持管理において民間企業へ		
数/概ね有効 □ ほぼ達成 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □		の委託による経費の抑制は		
課題あり		必要であることから、計画ど		
)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下	げろてキをしたか)	■ おり事業を進めることが必要 と判断する。		
	び事業費の抑制が行われている。			
効率的				
□ □ □ □		今後の展開方向		
<mark>率的/概ね効</mark>		(Action)	\	\
		継続/現状維持		
) <u>事務事業の公平性</u> ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	って 利田老が厄手士でものづけなく 利			
	って、利用者が偏重するものではなく、利 負担もあることから公平と判断する。	本来物は平成10年度から氏 間企業へ委託しており、火葬		
□ 受益者負担がない	EMODUCES SATEMAN O	従事者は、従事経験による専		
平/概ね公平		門的知識を有している。また、 複数人体制も確立しており、		I
公平でない □ その他		■ 【複数人体制も確立してあり、 ■ 利用者に対するサービスの向		I
その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)		上が図られていることから、今		
			ı	•
		後も現状維持が適当である。		
		※展開方向の区分	拡充又は縮小又は統合又は内容	

政策目標 4 うるおい・雄武~生活環境・生活基盤の充実~	会 計 区 分	1 <mark>一般会計</mark>	【全体計画内容】※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策 15 環境の保全	事業優先度	Α	
単位施策 4 ごみ・し尿処理の推進			
事 業 名 ──般廃棄物収集運搬等業務委託事業	<u>政策事務分類</u> 見直し年度	2 <mark>単独自治事務(個別計画)</mark>	
事業期間 平成20年度~平成24年度	担当課	4 住民生活課	
事業主体町	関 係 課	#N/A	
事業指標でみの適正な処理量		#N/A	
事業目標適切な収集及び維持管理	ハート・/ソフト 事業区分	2 <mark>ソフト事業</mark>	
住民参加 。	関 係 例 規・法 令 名	2 廃棄物処理法	
住民協働	関係個別計画名	1 一般廃棄物処理基本計画	

		全	体	計	画		平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
		事	業	内	容		事 業 内 容	事 業 内 容	事 業 内 容	事 業 内 容	事 業 内 容
計		፤系一般廃棄 ፤業務委託	€物の収録	集及び	処理施設	め維持	収集及び施設維持管理	収集及び施設の維持管理	収集及び施設の維持管理	収集及び施設の維持管理	家庭系一般廃棄物の収集、処理施設の維持管理、蜂駆除、野 大捕獲及び野犬・不要犬の処分
画											寺
内											
容											
計	事		(千円)			179,245	35,850	35,443	34,808	34,808	38,336
画	財	国庫支出				0					
画事	源-	道支出				0					
業	内	<u>地 方</u> そ の	債			00 514	7 700	7.011	6,200	6,000	6,200
費	訳	一般則				33,514 145,731	7,703 28,147	7,211 28,232	28,608	6,200 28,608	
	事		千円)			179,590	35,850	35,443	34,805	34,805	38,687
実	- 	国庫支出				0	00,000	00,140	01,000	04,000	00,007
績 事	財源	道支出				0					
業	内					0					
費	訳	その				32,303	7,703	6,000	6,200	6,200	
		一般則				147,287	28,147	29,443	28,605	28,605	
		定財源の詳 処理手数料					(実施内容等) ・雄武町全域の家庭系ごみの収集 運搬業務、紋別市リサイクルセン	(実施内容等) ・雄武町全域の家庭系ごみの収集 運搬業務、紋別市リサイクルセン	(実施内容等) ・雄武町全域の家庭系ごみの収集 運搬業務、紋別市リサイクルセン	(実施内容等) ・雄武町全域の家庭系ごみの収集 運搬業務、紋別市リサイクルセン	(実施内容等) ・雄武町全域の家庭系ごみの収集 運搬業務、紋別市リサイクルセン
関							ターへの資源ごみの搬入、処理	ターへの資源ごみの搬入、処理	ターへの資源ごみの搬入、処理	ターへの資源ごみの搬入、処理	ターへの資源ごみの搬入、処理
				【評	価・3	【 績】	施設の管理業務及び臨時的収集	施設の管理業務及び臨時的収集	施設の管理業務及び臨時的収集	施設の管理業務及び臨時的収集	施設の管理業務及び臨時的収集
連							を業務内容とし、民間業者に業務	を業務内容とし、民間業者に業務	を業務内容とし、民間業者に業務	を業務内容とし、民間業者に業務	を業務内容とし、民間業者に業務
事							委託 ※前年度評価結果	委託 ※前年度評価結果	委託 ※前年度評価結果	委託 ※前年度評価結果	委託 ※前年度評価結果
尹							A一継続/現状維持	A一継続/拡充	A一継続/現状維持	※削牛及計画和未 A一継続/現状維持	
項	垒 /	1期総合計画	調油	ケ	度目標	画店					適切な収集及び維持管理
		+剱ベロ前四 (継続有り			· <u>及 日 1</u> 6 - 度 達 6		週切な収集及び維持官理 100%	<u> </u>	週 切 な 収 未 及 ひ 証 付 目 垤 100%	週9な収集及び維持官理 100%	週 切な 収 未及 ひ 維 行 官 垤 101%
		\411470 F3 7	,		: 体達原		20%	40%	59%	79%	100%
					業進捗			***		***	***

事業名 -	一般廃棄物収集運	般等業務委託事業		評価者 管理職 職氏名 評価者 作成者 職氏名		生活課長 氧生係長	渡邊 若米地	孝 <u>司</u> 幸 二	平成24年度実施 平成25年度評価
■事務事業	の目的・内容(Plan	•Do)				72/12		<u> </u>	1 /// 1 /ZIII M
【誰、何が(対		町民が排出するごみ			望ましい指標(目的 最も端的に表す理		ごみの適正な収集	€運搬•処理	
【抱える課題	[やニーズは]	各家庭から排出される	ごみの適正な収集運搬・処理及び	収集運搬等に係るコスト節減	標) 指標(指標計算		目標:	目標値及	とび 実 績 値 平成24 年度 1,772 t
【どのようなり目指したのか	状態になることを か(意図)】	町内の環境・公衆衛生	維持のため、迅速かつ効率的な収	Z集及びコスト節減	ごみの適正な	な処理量	実績産成	度	1,772 t 100.0 % 年度
【その結果、 実現したいが ※成果=目		祝日等もごみの適正な	・収集運搬・処理を行う等、住民サー	ービスの向上を図る			日 標 実 績 達 成	中 <u> </u>	#DIV/0! %
		民間業者へ業務委託		サービス向上及び経費節減を	 図るため、民間業者/	への業務委託を			<u></u>
【内容(どの。 行ったか】	ような手段で何を								
(1)事務事業		.一ズ、・社会情勢に照ら 重複や見直しによる対応	して妥当か、町が担う必要がある。 な可能性)	か。当該事業を実施しない場合		事業が進んでい			画通り事業を進めることが適当 等 業の進め方に改善が必要 等
必要		義務的なもの	民間委託により、祝日収集の外 処理を行う等、住民サービスの「		D:事業効果	具が表れていなし	い。事業の統合、休	・廃止の検討が	
必要/概ね必 /課題あり	必要	全部 一部				i <mark>(一次評価)</mark> A	評価会議評価	(<mark>二次評価)</mark>	町長評価(三次評価)
(2)事務事業		る効果が得られたか)			民間委託によ	より、祝日等の			
有効	✓	目標値の達成状況	─ 祝日収集のほか、臨時収集運搬の向上が図られている。	8。処理を行うなと任氏サーヒス	おり、住民サ	理が行われて ービスの向上			
有効/概ね有 /課題あり		ほぼ達成 下回る			も計画どおり	いることから今後 事業を進めるこ			
(3)事務事業			したか、計画上のコストを下げるエラ		とが適当と判	I断9る。			
効率的		判断の理由 事業費抑制 人員削減	──民間委託により、祝日等も収集が ──岡られている。	軍搬・処理を行い、経費の節減 ₹	今後の展開	開方向			
効率的/概な率的/課題あ		時間短縮·作業軽減 その他			(Action)			7	
(4)事務事第	業の公平性				継続/	現状維持			
公平		判断の理由 受益者負担がある 受益者負担がない	■ 町内全域が収集区域であり、全 直営同様公平である。	町民がサービスを享受するため	の適正な収算 びコスト節減	出されるごみ 運搬・処理及 のため現状維			
公平/概ねな /公平でない		受益が一部に偏る その他			持が適当であ 	ත් රි			
■その他特	記事項(アンケート	調査など外部評価を受	けた場合は、その旨記入)		٦				
					※展開方向 〇継続。 〇終了	/現状維持又に	<u>└────</u> は拡充又は縮小又に 〇廃止	よ統合又は内容	卒の見直し・変更

政策目標 4 うるおい・雄武~生活環境・生活基盤の充実~	会 計 区 分	1 <mark>一般会計</mark>	【全体計画内容】※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策 15 環境の保全	事業優先度	A	
単位施策 4 <mark>ごみ・し尿処理の推進 </mark>	T		
事 業 名 西紋別地区環境衛生施設運営事業	<u>政策事務分類</u> 見値し年度	2 単独自治事務(個別計画)	
事業期間 平成20年度~平成24年度	担当課	4 住民生活課	
事業主体町	関 係 課	#N/A	
事業指標し尿等処理量		#N/A	
事業目標を施設の安定運営	ハート・/ソフト 事業区分	2 <mark>ソフト事業</mark>	
住民参加	関 係 例 規・法 令 名	2 廃棄物処理法	
住民協働	関係個別計画名	1 一般廃棄物処理基本計画	

		全	体		画		平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
		事	業	内	容		事業内容	事 業 内 容	事業内容	事業内容	事業内容
計		『事務組合に の組合運営?					組合運営分担金	組合運営分担金	組合運営分担金	組合運営分担金	組合運営分担金
画											
内											
容											
=1	事	業費((千円)			45,852	30,074	29,824	28,293	29,500	28,161
計 画 事	E J	国庫支出				0					
事	財 源	道支出				0					
· 業	内	<u>地方</u>	債			0					
費	訳	その 一般 則	他 + 酒		-	45,852	30.074	29,824	28,293	29,500	28,161
—	事		千円)			44,357	30,074	29,824	,	,	
実		国庫支出				0	00,071	20,021	20,200	20,000	25,101
績事	財源	道支出				0					
業	内	地方	債			0					
費	訳	その				0					20.101
		一般則				44,357	30,074	29,824		, ·	
	(特)	定財源の詳	細等)				(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)
							・町単独での処理が困難な、し尿処 理を広域的(西紋別地区)に実施	・町単独での処理が困難な、し尿処 理を広域的(西紋別地区)に実施	・町単独での処理が困難な、し尿処理を広域的(西紋別地区)に実施	・町単独での処理が困難な、し尿処 理を広域的(西紋別地区)に実施	・町単独での処理が困難な、し尿処 ┃ 理を広域的(西紋別地区)に実施 ┃
関							雄武町の応分の組合運営分担金	雄武町の応分の組合運営分担金	雄武町の応分の組合運営分担金	雄武町の応分の組合運営分担金	雄武町の応分の組合運営分担金
121				【評(価・実	績】	を西紋別地区環境衛生施設組合	を西紋別地区環境衛生施設組合	を西紋別地区環境衛生施設組合	を西紋別地区環境衛生施設組合	を西紋別地区環境衛生施設組合
連						_	に支出	に支出	に支出	に支出	に支出
										\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	
事											※前年度評価結果
項	fr.fr.	. HB &// A = 1 =		_		<i>1</i> -1-	A一継続/現状維持	A一継続/現状維持	A一継続/現状維持	A一継続/現状維持	A一継続/現状維持
一 欠	第4	1期総合計画 (継続方は)			度目標度は						施設の安定運営
		(継続有り))	<u></u>	<u>度 達 成</u> 体 達 成	<u>华</u> 家	100% 21%	100% 41%	60%	95% 80%	100%
					<u> </u>			☆☆☆	☆☆☆☆	☆☆☆☆	***
				777	へん ジック	1/0	A A A A	A A A A			

<mark>業名</mark> 西紋別地区環境衛	衛生施設運営事業		評価者 管理職 職氏名 評価者 作成者 職氏名		渡邊孝司 苦米地幸二	平成24年度実施 平成25年度評価
	lana Da)		一	<mark>」 </mark>		一次25千及矸
· /// 	町内で発生するし尿			望ましい指標(目的達成状況を		
	四月79 て光工 するびが			最も端的に表す理論上の成果指	し尿等処理量	
こて細胞やっ ブルー	町内で発生するし尿の	、		指標(指標計算式/解説)	┃	び実績値
える課題やニーズは】	可内で発生するし水の) 週止処理		1	目標年度	平成24 年度
				∥ 	目 標 値 実 績 値	1,424 kℓ 1,424 kℓ
のような状態になることを	ジョン 分担金支出による施設	ひの安定運営 しゅうしゅう			達成度	100.0 %
したのか(意図)】	77722721-01000	X** X Z Z Z		2	目標年度	年度
ーーーー の結果、どのような成果を	\$				目 標 値	+12
したいか】	施設の運営維持・し尿	の継続処理			実	
果=目的					達成度	#DIV/0! %
	組合運営分担金の支	—— <u>———————————————————————————————————</u>	一部事務組合にて 尼加田丸	広域で行っており、応分の組合運営		
	加口在日月后亚贝又	<u> </u>	TRPが加口にCOMを注で	四次(ロットのルトの力の他日廷音	<u> </u>	
容(どのような手段で何を	<u> </u>					
たか】						
務事業の必要性(町民			あるか。当該事業を実施しない場合	■総合評価【A~D】 A:計画通り事業が進んで	いる。目標が達成された。今後も計画でいるが日標を達成していない。 東着	画通り事業を進めることが適当 等 紫の進め方に改善が必要 等
事務事業の必要性(町民) ウ支障、既存事業との機 必要	能重複や見直しによる対 義務的なもの	応可能性)	あるか。当該事業を実施しない場合 であり、一部事務組合の広域的な好	A:計画通り事業が進んで B:ほぼ計画どおりに進ん C:当初の計画を達成でき D:事業効果が表れていな	でいるが目標を達成していない。事業 ていない。事業規模、内容、実施主 い。事業の統合、休・廃止の検討が	業の進め方に改善が必要 等 本等の見直しが必要 等 必要 等
■務事業の必要性(町民) ○支障、既存事業との機 必要 □ ✓概ね必要 □	能重複や見直しによる対 義務的なもの □ 全部	<u>応可能性)</u> <mark>─</mark> 町単独でのし尿処理は困難		A:計画通り事業が進んで B:ほぼ計画どおりに進ん C:当初の計画を達成でき D:事業効果が表れていな 自己評価(一次評価)	でいるが目標を達成していない。事業 ていない。事業規模、内容、実施主候	業の進め方に改善が必要 等 本等の見直しが必要 等
事務事業の必要性(町民)支障、既存事業との機 必要 □ <mark>/概ね必要</mark> □	能重複や見直しによる対 <mark>義務的なもの</mark> □ 全部 □ 一部	<u>応可能性)</u> <mark>─</mark> 町単独でのし尿処理は困難		A:計画通り事業が進んで B:ほぼ計画どおりに進ん C:当初の計画を達成でき D:事業効果が表れていな 自己評価(一次評価)	でいるが目標を達成していない。事業 ていない。事業規模、内容、実施主係い。事業の統合、休・廃止の検討が 評価会議評価(二次評価)	業の進め方に改善が必要 等 本等の見直しが必要 等 必要 等
野務事業の必要性(町民) 支障、既存事業との機 必要 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	能重複や見直しによる対 <mark>義務的なもの</mark> □ 全部 □ 一部 □ する効果が得られたか)	応可能性) 町単独でのし尿処理は困難 理が必要である。	であり、一部事務組合の広域的な処	A:計画通り事業が進んで B:ほぼ計画どおりに進ん C:当初の計画を達成でき D:事業効果が表れていな 自己評価(一次評価) A 町単独でのし尿の処理は困	でいるが目標を達成していない。事業 ていない。事業規模、内容、実施主保い。事業の統合、休・廃止の検討が 評価会議評価(二次評価)	業の進め方に改善が必要 等 本等の見直しが必要 等 必要 等
務事業の必要性(町民 支障、既存事業との機 必要 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	能重複や見直しによる対 義務的なもの 全部 一部 する効果が得られたか) た目標値の達成状況 達成	<u>応可能性)</u> <mark>─</mark> 町単独でのし尿処理は困難	であり、一部事務組合の広域的な処	A:計画通り事業が進んで B:ほぼ計画どおりに進ん C:当初の計画を達成でき D:事業効果が表れていな 自己評価(一次評価) A 町単独でのし尿の処理は困 難であるが、発生するし尿の 適正な処理は必要であるた	でいるが目標を達成していない。事業 ていない。事業規模、内容、実施主体い。事業の統合、休・廃止の検討が 評価会議評価(二次評価)	業の進め方に改善が必要 等 本等の見直しが必要 等 必要 等
■務事業の必要性(町民 ②支障、既存事業との機 必要 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	能重複や見直しによる対 義務的なもの	応可能性) 町単独でのし尿処理は困難 理が必要である。	であり、一部事務組合の広域的な処	A:計画通り事業が進んで B:ほぼ計画どおりに進んで C:当初の計画を達成でき D:事業効果が表れていな 自己評価(一次評価) A 町単独でのし尿の処理は困 難であるが、発生するし尿の 適正な処理は必要であるた め、広域で行う必要があるこ	でいるが目標を達成していない。事業 ていない。事業規模、内容、実施主体い。事業の統合、休・廃止の検討が 評価会議評価(二次評価)	業の進め方に改善が必要 等 本等の見直しが必要 等 必要 等
 務事業の必要性(町民) 支障、既存事業との機 必要 概ね必要	能重複や見直しによる対 義務的なもの	応可能性) 町単独でのし尿処理は困難理が必要である。 町内で発生するし尿等はする	であり、一部事務組合の広域的な好であり、一部事務組合の広域的な好であり、一部事務組合の広域的な好がある。	A:計画通り事業が進んで B:ほぼ計画どおりに進ん C:当初の計画を達成でき D:事業効果が表れていな 自己評価(一次評価) A 町単独でのし尿の処理は困 難であるが、発生するし尿の 適正な処理は必要であるた	でいるが目標を達成していない。事業 ていない。事業規模、内容、実施主体い。事業の統合、休・廃止の検討が 評価会議評価(二次評価)	業の進め方に改善が必要 等 本等の見直しが必要 等 必要 等
 務事業の必要性(町民) 支障、既存事業との機 必要 概ね必要	能重複や見直しによる対 義務的なもの	応可能性) 町単独でのし尿処理は困難理が必要である。 町内で発生するし尿等はする。	であり、一部事務組合の広域的な好であり、一部事務組合の広域的な好であり、一部事務組合の広域的な好である。	A:計画通り事業が進んで B:ほぼ計画どおりに進ん C:当初の計画を達成でき D:事業効果が表れていな 自己評価(一次評価) A 町単独でのし尿の処理は困 難であるが、発生するし尿の 適正な処理は必要であるた め、広域で行う必要があるこ とから、計画どおり事業を進 めることが適当と判断する	でいるが目標を達成していない。事業 ていない。事業規模、内容、実施主体い。事業の統合、休・廃止の検討が 評価会議評価(二次評価)	業の進め方に改善が必要 等 本等の見直しが必要 等 必要 等
 務事業の必要性(町民) 支障、既存事業との機(必要) (概ね必要 値あり) 「務事業の有効性(期待 投定して概ね有効 値あり) 「務事業の効率性(コスト) 本的 	能重複や見直しによる対 義務的なもの	応可能性) 町単独でのし尿処理は困難理が必要である。 町内で発生するし尿等はする。	であり、一部事務組合の広域的な好であり、一部事務組合の広域的な好であり、一部事務組合の広域的な好がある。	A:計画通り事業が進んで B:ほぼ計画どおりに進んで:当初の計画を達成できた。当初の計画を達成できた。 D:事業効果が表れていな 自己評価(一次評価) A 町単独でのし尿の処理は困難であるが、発生するし尿の適正な処理は必要であるため、広域で行う必要があることから、計画どおり事業を進めることが適当と判断する	でいるが目標を達成していない。事業 ていない。事業規模、内容、実施主体い。事業の統合、休・廃止の検討が 評価会議評価(二次評価)	業の進め方に改善が必要 等 本等の見直しが必要 等 必要 等
不明報	能重複や見直しによる対 義務的なもの	応可能性) 町単独でのし尿処理は困難理が必要である。 町内で発生するし尿等はする なたか、計画上のコストを下げる 町単独で行うより広域に処理	であり、一部事務組合の広域的な好であり、一部事務組合の広域的な好であり、一部事務組合の広域的な好である。	A:計画通り事業が進んで B:ほぼ計画どおりに進んで:当初の計画を達成でき D:事業効果が表れていな 自己評価(一次評価) A 町単独でのし尿の処理は困 難であるが、発生するし尿の 適正な処理は必要であるため、広域で行う必要があることから、計画どおり事業を進めることが適当と判断する	でいるが目標を達成していない。事業 ていない。事業規模、内容、実施主体い。事業の統合、休・廃止の検討が 評価会議評価(二次評価)	業の進め方に改善が必要 等 本等の見直しが必要 等 必要 等
勝事業の必要性(町民) 支障、既存事業との機 必要 □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	能重複や見直しによる対 義務的なもの	応可能性) 町単独でのし尿処理は困難理が必要である。 町内で発生するし尿等はする なたか、計画上のコストを下げる 町単独で行うより広域に処理	であり、一部事務組合の広域的な好であり、一部事務組合の広域的な好であり、一部事務組合の広域的な好である。	A:計画通り事業が進んで B:ほぼ計画どおりに進んで:当初の計画を達成できた。当初の計画を達成できた。 D:事業効果が表れていな 自己評価(一次評価) A 町単独でのし尿の処理は困難であるが、発生するし尿の適正な処理は必要であるため、広域で行う必要があることから、計画どおり事業を進めることが適当と判断する	でいるが目標を達成していない。事業 ていない。事業規模、内容、実施主体い。事業の統合、休・廃止の検討が 評価会議評価(二次評価)	業の進め方に改善が必要 等 本等の見直しが必要 等 必要 等
野務事業の必要性(町民) 支障、既存事業との機 必要	能重複や見直しによる対 義務的なもの	応可能性) 町単独でのし尿処理は困難理が必要である。 町内で発生するし尿等はする なたか、計画上のコストを下げる 町単独で行うより広域に処理	であり、一部事務組合の広域的な好であり、一部事務組合の広域的な好であり、一部事務組合の広域的な好である。	A:計画通り事業が進んで B:ほぼ計画どおりに進んで:当初の計画を達成でき D:事業効果が表れていな 自己評価(一次評価) A 町単独でのし尿の処理は困 難であるが、発生するし尿の 適正な処理は必要であるため、広域で行う必要があることから、計画どおり事業を進めることが適当と判断する	でいるが目標を達成していない。事業 ていない。事業規模、内容、実施主体い。事業の統合、休・廃止の検討が 評価会議評価(二次評価)	業の進め方に改善が必要 等 本等の見直しが必要 等 必要 等
務事業の必要性(町民 支障、既存事業との機 必要 「概ね必要 「あり」 「あり」 「あり」 「である。 「である」 「あり」 「である。 「である。」 「である。 「である。」 「である。 「である。」 「おきます。 「おきます。」 「なきます。」 「おきます。」 「ままます。」 「おきます。」 「おきます。」 「おきます。」 「おきます。」 「おきます。」 「おきます。」 「ままます。」 「ままます。」 「ままます。」 「ままます。」 「まままます。」 「まままます。」 「ままままます。」 「まままままままままままままままままままままままままままままままままままま	能重複や見直しによる対 義務的なもの 全部 一部 する効果が得られたか) た目標値の達成状況 達成 同にぼ達成 同に見合った効果が得られ 判断の理由 図 事業費抑制 図 人員削減 同時間短縮・作業軽減 同くの他	応可能性) 町単独でのし尿処理は困難理が必要である。 町内で発生するし尿等はする 町本で行うより広域に処理している。	であり、一部事務組合の広域的な例でであり、一部事務組合の広域的な例でで適切に処理されている。 「おままをしたか)を関することで、コストの削減が図られることで、コストの削減が図られ	A:計画通り事業が進んで B:ほぼ計画どおりに進んで:当初の計画を達れていな D:事業効果が表れていな 自己評価(一次評価) A 町単独でのし尿の処理は尿の 競正な処理は尿の必要があることがら、計画どおり当まするとから、計画とおり事断する	でいるが目標を達成していない。事業でいない。事業規模、内容、実施主体い。事業の統合、休・廃止の検討が評価会議評価(二次評価)	業の進め方に改善が必要 等 本等の見直しが必要 等 必要 等
務事業の必要性(町民 支障、既存事業との機 必要 「あり」 「	能重複や見直しによる対 義務的なもの 全部 一部 する効果が得られたか) た目標値の達成状況 」 達成	応可能性) 町単独でのし尿処理は困難理が必要である。 町内で発生するし尿等はする 町本独で行うより広域に処理したか、計画上のコストを下げる	であり、一部事務組合の広域的な例でであり、一部事務組合の広域的な例でで適切に処理されている。 「おままをしたか)を関することで、コストの削減が図られることで、コストの削減が図られ	A:計画通り事業が進んで B:ほぼ計画とされている C:当初の計画を達れていな 自己評価(一次評価) A 町単独でのし尿の処理は尿の 適正な処理は尿のをあることが適当と判断する とから、計画がまり判断する をの展開方向 (Action) 一様を創造するため、町単独を創造するため、町単独	でいるが目標を達成していない。事業でいない。事業規模、内容、実施主体い。事業の統合、休・廃止の検討が評価会議評価(二次評価)	業の進め方に改善が必要 等 本等の見直しが必要 等 必要 等
表	能重複や見直しによる対 義務的なもの 全部 一部 する効果が得られたか) た目標値の達成状況 達成 「ほぼ達成 「下回る トに見合った効果が得られ 判断の理由 対 事業費抑制 「人員削減 「時間短縮・作業軽減 「時間短縮・作業軽減 」その他 判断の理由 「受益者負担がある」 受益者負担がない 「受益が一部に偏る	応可能性) 町単独でのし尿処理は困難理が必要である。 町内で発生するし尿等はする 町本で行うより広域に処理している。	であり、一部事務組合の広域的な例でであり、一部事務組合の広域的な例でで適切に処理されている。 「おままをしたか)を関することで、コストの削減が図られることで、コストの削減が図られ	A:計画通り事業が進んでの B:ほぼ計画を達れていな D:事業が悪が表れていな 自己評価(一次評価) A 町単あるが、発生すでが、発生要でが、発生でなが、発生であるが、で画が表がで画が表がで画が表がであることが適当と判断することが適当と判断する。 継続/現状維持 町境を創造するため、町処理は尿ので清淡な町単変をが、大き、大が適当と判断で清潔な町単変をがませる。 を後のに対している。 が進んでは、大変を表が、表が、大変を表が、大変を表が、大変を表が、まな、大変を表が、大変を表が、大変を表が、大変を表が、大変を表が、大変を表が、大変を表が、大変を表が、大変を表が、大変を表が、大変を表が、大変を表が、大変を表が、まな、表が、大変を表が、大変を表が、まな、表が、表が、表が、表が、表が、表が、表が、表が、表が、表が、表が、表が、表が、	でいるが目標を達成していない。事業でいない。事業規模、内容、実施主体い。事業の統合、休・廃止の検討が評価会議評価(二次評価)	業の進め方に改善が必要 等 本等の見直しが必要 等 必要 等
新事業の必要性(町民) 支障、既存事業との機(必要	能重複や見直しによる対 義務的なもの 全部 一部 する効果が得られたか) た目標値の達成状況 「達成 「ほぼ達成 「に見合った効果が得られを対す断の理由 「事業費抑制」 」人員削減 「時間短縮・作業軽減 「時間短縮・作業軽減」をの他 判断の理由 「受益者負担がある」 「受益者負担がない	応可能性) 町単独でのし尿処理は困難理が必要である。 町内で発生するし尿等はする 町本で行うより広域に処理している。	であり、一部事務組合の広域的な例でであり、一部事務組合の広域的な例でで適切に処理されている。 「おままをしたか)を関することで、コストの削減が図られることで、コストの削減が図られ	A:計画通り事業が進んでである。 B:ほぼ割割計計計計計計計計 (本では、本では、本では、本では、大のでは、大のでは、大のでは、大のでは、大のでは、大のでは、大のでは、大の	でいるが目標を達成していない。事業でいない。事業規模、内容、実施主体い。事業の統合、休・廃止の検討が評価会議評価(二次評価)	業の進め方に改善が必要 等 本等の見直しが必要 等 必要 等
支障、既存事業との機 必要	能重複や見直しによる対 義務的なもの	応可能性) 町単独でのし尿処理は困難理が必要である。 町内で発生するし尿等はする 町本で行うより広域に処理している。	であり、一部事務組合の広域的な例でであり、一部事務組合の広域的な例でで適切に処理されている。 「おままをしたか)を関することで、コストの削減が図られることで、コストの削減が図られ	A:計画通り事業が進んでの B:ほぼ計画を達れていな D:事業が悪が表れていな 自己評価(一次評価) A 町単あるが、発生すでが、発生要でが、発生でなが、発生であるが、で画が表がで画が表がで画が表がであることが適当と判断することが適当と判断する。 継続/現状維持 町境を創造するため、町処理は尿ので清淡な町単変をが、大き、大が適当と判断で清潔な町単変をがませる。 を後のに対している。 が進んでは、大変を表が、表が、大変を表が、大変を表が、大変を表が、まな、大変を表が、大変を表が、大変を表が、大変を表が、大変を表が、大変を表が、大変を表が、大変を表が、大変を表が、大変を表が、大変を表が、大変を表が、大変を表が、まな、表が、大変を表が、大変を表が、まな、表が、表が、表が、表が、表が、表が、表が、表が、表が、表が、表が、表が、表が、	でいるが目標を達成していない。事業でいない。事業規模、内容、実施主体い。事業の統合、休・廃止の検討が評価会議評価(二次評価)	業の進め方に改善が必要 等 本等の見直しが必要 等 必要 等
下務事業の必要性(町民) 支障、既存事業との機 で数要性(町民) 支障、既存事業との機 で数	能重複や見直しによる対 義務的なもの	応可能性) 町単独でのし尿処理は困難理が必要である。 町内で発生するし尿等はする たか、計画上のコストを下げる 町単独で行うより広域に処理いる し尿の適正な処理は、全てのるものであり、公平と判断する	であり、一部事務組合の広域的な例でであり、一部事務組合の広域的な例でで適切に処理されている。 「おままをしたか)を関することで、コストの削減が図られることで、コストの削減が図られ	A:計画通り事業が進んでである。 B:ほぼ割割計計計計計計計計 (本では、本では、本では、本では、大のでは、大のでは、大のでは、大のでは、大のでは、大のでは、大のでは、大の	でいるが目標を達成していない。事業でいない。事業規模、内容、実施主体い。事業の統合、休・廃止の検討が評価会議評価(二次評価)	業の進め方に改善が必要 等 本等の見直しが必要 等 必要 等

政策目標 4 うるおい・雄武~生活環境・生活基盤の充実~	会	計	区	分	1	一般会計	【全体計画内容】※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策 15 環境の保全	事	業	優 先	度		A	
単位施策 4 <mark>ごみ・し尿処理の推進 </mark>	7	_	76 N	NT.	_		
事業名 リサイクル推進事業	<u> </u>	<u>策 事</u> 直	<u>務分</u> し年	<u>類</u> 度	2	単独自治事務(個別計画)	
事業期間 平成20年度~平成24年度	担		当	課	4	住民生活課	
事業主体町	即		区	課		#N/A	
事業指標でみ排出の減量化・リサイクル率の向上	IZI		/ \			#N/A	
事業目標 1人1日あたり排出ごみ783gから38gの減・リサイクル率26.6%より6.2%向上	ハート	<u>・・/ソフ</u>	ト 事業	区分		ソフト事業	
住民参加 2	関係	系例規	見・法~	令 名	2	廃棄物処理法	
住民協働	関(係 個	別計圓	回 名	1	一般廃棄物処理基本計画	

			全体	計	画		平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
			<u></u>	内	<u></u> 容		事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容
計		定袋(収	入証紙付) 対料の支出		Ц		・指定袋(収入証紙付)作製 ・売捌き手数料支出	・指定袋(収入証紙付)作製 ・売捌き手数料支出	・指定袋(収入証紙付)作製 ・売捌き手数料の支出	・指定袋(収入証紙付)作製 ・売捌き手数料の支出	・指定袋(収入証紙付)作製 ・売捌き手数料の支出
画											
内											
容											
=1	事	業	費(千円)			27,289	5,900	5,330	5,399	5,330	5,330
計画	В÷		支出金			0	·	,		·	
画事	財源		支出金			0					
業	内		方 債			0					
費	訳		の他			12,170	3,081	2,322	2,123	2,322	2,322
			段 財 源			15,119	2,819	3,008	3,276	3,008	
実	事		費(千円)			24,240	2,112	5,933	5,347	5,436	5,412
実績	財		支出金支出金			0					
事	財 源					0					
業	内		の他			9,817	1,050	2,000	2,123	2,322	2,322
費	訳		段 財 源			14,423	1,062	3,933		3,114	
	(特)		の詳細等)			,	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)
関連	・ごみ	処理手	数料	【評	価・	実 績】	・ごみ指定袋(収入証紙付)の作製・雄武商工会への売捌手数料の支出 (指定袋による有料化により、ごみの減量化、資源ごみの分別を行う)	・ごみ指定袋(収入証紙付)の作製 ・雄武商工会への売捌手数料の支 出 (指定袋による有料化により、ごみ の減量化、資源ごみの分別を行う)	・ごみ指定袋(収入証紙付)の作製・雄武商工会への売捌手数料の支出 (指定袋による有料化により、ごみの減量化、資源ごみの分別を行う)	・ごみ指定袋(収入証紙付)の作製 ・雄武商工会への売捌手数料の支 出 (指定袋による有料化により、ごみ の減量化、資源ごみの分別を行う)	・ごみ指定袋(収入証紙付)の作製 ・雄武商工会への売捌手数料の支出 (指定袋による有料化により、ごみの減量化、資源ごみの分別を行う)
事							※前年度評価結果 A一継続/現状維持	※前年度評価結果 A一継続/現状維持	※前年度評価結果 A一継続/現状維持	※前年度評価結果 A一継続/現状維持	※前年度評価結果 A一継続/現状維持
項	第4		計画関連		度目:				排出ごみの減、リサイクル率向上		
		(継続	有り)		度達.		36%	111%	99%	102%	102%
					<u> 体達</u>		8%	29%	49%	69%	89%
				- 事	事業進捗	状况	***	***	***	$\triangle \triangle \triangle \triangle$	***

事業名リサイクル推進事	業		評価者 官埋職 職氏名 評価者 作成者 職氏名		」	平成24年度美施 平成25年度評価
■事務事業の目的・内容(F	Plan•Do)					
【誰、何が(対象)】	町民(一般家庭ごみ)			望ましい指標(目的達成状況を 最も端的に表す理論上の成果指	ř 廃棄物のリサイクル率 32.8%	
【抱える課題やニーズは】	最終処分場の延命化			標) 指標(指標計算式/解説) ① 資源ごみの重量÷総廃棄		び 実 績 値 平成24 年度 32.8 %
【どのような状態になることを 目指したのか(意図)】	を ごみの減量化、費用負	i担の公平化		物の重量/リサイクル率 (%) ②	実績 値 達成 度 目標 年度	23.7 % 72.3 % 年度
【その結果、どのような成果 実現したいか】 ※成果=目的	を新たな経費負担の回避	壁(廃棄物最終処分場)			目標 値 実績 値 達成 度	#DIV/0! %
	ごみ指定袋の有料化		ごみ指定袋(収入証紙付)の作	<u>-</u> 成及び売捌き手数料の支出	1	
【内容(どのような手段で何: 行ったか】	<u>*</u>					
の支障、既存事業との機 必要	民ニーズ、・社会情勢に照ら 後能重複や見直しによる対応 義務的なもの	指定袋による有料化が住民に対けが 付けが図られており、最終処分	か。当該事業を実施しない場合 曼透し、ごみの減量化に係る意識 場の延命化により、新たな経費負	B:ほぼ計画どおりに進ん C:当初の計画を達成でき D:事業効果が表れていな	いる。目標が達成された。今後も計 でいるが目標を達成していない。事業 ていない。事業規模、内容、実施主 い。事業の統合、休・廃止の検討が	業の進め方に改善が必要 等 体等の見直しが必要 等 必要 等
<mark>必要/概ね必要</mark> /課題あり	全部	担が回避できる		自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
•				B	В	
有効/概ね有効 /課題あり	」た目標値の達成状況 ☐ 達成 ☐ ほぼ達成 ☐ 下回る		おり、指定袋による有料化が住民 でいる状況にあるが、ごみの搬出 まをしたか)	● 資源ごみのリサイクルの推進 に係る意識の定着を図られているが、、近年はごみの搬出 量が増加傾向にあることから、ごみの減量及び資源化向	同左	
効率的	判断の理由 事業費抑制	指定袋による有料化が住民に	浸透し、ごみのリサイクル化が図ら ₹棄物処理財源に充てるなどコスト			
率的/課題あり				w 生 / 理 上 # 仕		
(4)事務事業の公平性	判断の理由		用負担の公平化がなされていると	継続/現状維持 本事業は、ごみの減量化、リ	和松	
公平 公平/概ね公平 /公平でない ■その他特記事項(アンケー)	☑ 受益者負担がある□ 受益者負担がない□ 受益が一部に偏る□ その他	判断する	用食品の女士 ICがなられているC	サイクルの推進の意識付けを行い、ごみ処理に係る経費負担の軽減を図る上で継続実施が必要な事業であるが、今後は町広報誌等を活用し、ごみの減量化等に向けた取組みを行うこととします。	同左	
				※展開方向の区分	 	 容の見直し・変更

政策目標 4 うるおい・雄武~生活環境・生活基盤の充実~	会 計 区 分	1 <mark>一般会計</mark>	【全体計画内容】※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策 15 環境の保全 単位施策 4 ごみ・し尿処理の推進	事業優先度	А	
事業名 西紋ブロック広域資源ごみ処理事業	政策事務分類 見 直 し 年 度	2 単独自治事務(個別計画)	
事業期間 平成20年度~平成24年度	担当課	4 住民生活課	
事業主体 町 事業指標 資源ごみの適正処理率	関 係 課	#N/A #N/A	
事業目標 100%	ハート・/ソフト 事業区分	2 ソフト事業	
住民参加 住民協働	関係例規・法令名 関係個別計画名	2 容器包装リサイクル法 1 一般廃棄物処理基本計画	

		全	体	計	画		平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
			業	内	- IZ		事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容
	資源廃棄物のうち、有償売却となっていないびん・ペットボトル・その他プラスチック・段ボールの処理について紋別市リサイクルセンターに搬入し中間処理する。処理に係る協定を締結し、応分の処理負担金を支出するものである。 西紋ブロック広域資源ごみ処理負担金					処理に 引処理	西紋ブロック広域資源ごみ処理 負担金	西紋ブロック広域資源ごみ処理 負担金	西紋ブロック広域資源ごみ処理負担金	西紋ブロック広域資源ごみ処理 負担金	西紋ブロック広域資源ごみ処理負担金
内容		<i>,</i>	貞 // 小 こ ♥ /	· ÆÆÆ]	<u>= 117</u>						
	事		(千円)			33,650	6,159	6,257	6,515	6,830	7,889
画事業	財 源 内	国庫支 道 支 b 地 方 そ の	出 金			0 0 7,631	2,400	1,526	1,235	1,235	1,235
費	訳事	一般貝				26,019 33,207	3,759 5,839	4,731	5,280	5,595	6,654
実績事業	財原内	国庫支 道 支 b 地 方	出金出金債			0 0					
費	訳	そ の 一般貝				7,473 25,734	2,519 3,320				
関連事		定財源の詳 廃棄物売払		【評	価・:	実績】	(実施内容等) ・容器包装リサイクル法に基づく、 資源ごみを紋別市リサイクルセン ターに搬入し処理しており、それに 対する負担金をセンターに支出 ※前年度評価結果	対する負担金をセンターに支出	対する負担金をセンターに支出	対する負担金をセンターに支出	(実施内容等) ・容器包装リサイクル法に基づく、 資源ごみを紋別市リサイクルセン ターに搬入し処理しており、それに 対する負担金をセンターに支出 ※前年度評価結果
項	<i>kh</i> .	. #E 60 A = 1 =				= / -	A一継続/現状維持	A一継続/現状維持	A一継続/現状維持	A一継続/現状維持	A一継続/現状維持
·只	第4	脚総合計画			度目標		100%	100%	100%		100%
		(継続有り)		度達		95%	100%	98% 55%	100%	100%
					体 達 / 業進捗		17%	36%		75%	99%
				争	未進抄	1人)兀	$\triangle \triangle \triangle \triangle$	$\triangle \triangle \triangle \triangle$	ииии	$\Delta \Delta \Delta \Delta$	ииии

事業名 西紋ブロック広域資	『源ごみ処理事業		評価者 管理職 職氏名 評価者 作成者 職氏名	<u>住民生活課長</u> 環境衛生係長	渡邊孝司 苫米地幸二	平成24年度実施 平成25年度評価
■事務事業の目的・内容(Plar	n•Do)					
誰、何が(対象)】	町民が排出する資源ご	み		望ましい指標(目的達成状況を 最も端的に表す理論上の成果指	資源ごみの適正処理量	
「抱える課題やニーズは】	的確な資源ごみの分別	•収集		(標) 指標(指標計算式/解説) ① 資源ごみの適正処理量	目標年度 目標値	び 実 績 値 平成24 年度 420 t
【どのような状態になることを 目指したのか(意図)】	ごみの減量化、リサイク	ル率の向上		(kg)	実績 値 達成 度 目標 年度	420 t 100.0 % 年度
その結果、どのような成果を 実現したいか】 ※成果=目的	容器包装リサイクル法の	の基づく、資源ごみの適正な収集及	及び処理		日 標 位 目 標 値 実 績 値 達 成 度	#DIV/0! %
【内容(どのような手段で何を 行ったか】	紋別市リサイクルセンタ		単独では、容器包装リサイクル流に搬入し適切に処理をしている			
■事務事業の評価(Check) (1)事務事業の必要性(町民コ の支障、既存事業との機能 必要		資源ごみの適正な処理を行うた る	めには、単独で処理できない現	B:ほぼ計画どおりに進んて C:当初の計画を達成できて	いる。目標が達成された。今後も計画 いるが目標を達成していない。事業 こいない。事業規模、内容、実施主体	もの進め方に改善が必要 等 は等の見直しが必要 等
込 <mark>要/概ね必要</mark> ✓課題あり	全部	状では広域で処理することが必動 すべきである。	安 じめり、貝担金文田により処理	自己評価(一次評価)	い。事業の統合、休・廃止の検討が。 <mark>評価会議評価(二次評価)</mark>	び要 等 町長評価(三次評価)
(2)事務事業の有効性(期待す		'		▲ 有償売却により資源化回収		
有効	□ 目標値の達成状況 □ 達成 □ ほぼ達成 □ 下回る	一般家庭及び事業所から排出さ 適正に処理している。		業者に引き渡しできない物については、単独での処理が困難であるため、計画どおり事業を進めることが適当と判断する。		
概ね効率的	判断の理由 事業費抑制 人員削減	たか、計画上のコストを下げるエチ 資源ごみについては適正に処理 方式の見直しが今後必要と思わ	されているが、各市町村の負担	今後の展開方向 (Action)		
	│ <mark>時間短縮・作業軽減</mark> │その他					
4)事務事業の公平性	当につ田中	次海 これの旧佐加田については		継続/現状維持		
公平	判断の理由 受益者負担がある 受益者負担がない 受益が一部に偏る その他	_資源ごみの収集処理については 業系の処理手数料を財源充当し - - - - - - - - - - - - - - - - - - -		現状においては、有償売却となっていない物の処理については、引き続き紋別リサイクルセンターへ搬入・処理が必要であり、現状維持が適当である。		
_ <u> </u>	долен от чет при при с жето при с			※展開方向の区分 〇継続/現状維持又に 〇終了 〇休止	┃ は拡充又は縮小又は統合又は内容 ○廃止	『の見直し・変更 『

政策目標 4 うるおい・雄武~生活環境・生活基盤の充実~	会 計 区 分	1 <mark>一般会計</mark>	【全体計画内容】※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策 15 環境の保全	事業優先度	В	
単位施策 4 <mark>ごみ・し尿処理の推進 </mark>	政策事務分類	2 <mark>単独自治事務(個別計画)</mark>	
事 業 名 廃木材等処理事業	<u>以 泉 事 協 刀 規 _</u> 見 直 し 年 度	2 年级日况事物(個別計画)	
事業期間 平成20年度~平成24年度	担当課	4 住民生活課	
事業主体町	関 係 課	#N/A	
事業指標最終処分場の延命化	K) IV IV	#N/A	
事業目標 年間約50t排出される廃木材の埋立回避	ハート・/ソフト 事業区分	2 ソフト事業	
住民参加 。	関 係 例 規・法 令 名	2 廃棄物処理法	
住民協働	関係個別計画名	1 一般廃棄物処理基本計画	

111								为	1 成况来协定经基本时日		
		全	体	計	画		平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
		事	業	内	容		事 業 内 容	事 業 内 容	事 業 内 容	事 業 内 容	事業内容
計	・年間	約50tの廃	木材の処	心理委 託			廃木材処理委託 50t	廃木材処理委託 50t	廃木材処理委託 50t	廃木材処理委託 50t	廃木材処理委託 50t
画											
内											
容											
計	事	業費	(千円)			,800	360	360	360	360	360
面	В÷	国庫支	出金			0					
画事	財 源	道支上	出金			0					
	源	地方	債			0					
業費	内訳	その			-	,800	360	360	360	360	360
-	事	一般貝	7		-	0 772,	360	360	330	363	359
実績	7.	国庫支				0			330		
積	財 源	道支出				0					
事	源	地方				0					
業	内	その			-	,772	360	360	330	363	359
費	訳	—————————————————————————————————————				0					
関連事		定財源の詳 処理手数料	細等)	【評	価・実績	責】	(実施内容等) ・廃木材は、形成物のまま埋立処理するには、容量が多すぎるため最終処分場の延命化を図る方策として破砕処理施設を有する民間業者に処理委託 ※前年度評価結果 A一継続/現状維持	(実施内容等) ・廃木材は、形成物のまま埋立処理するには、容量が多すぎるため最終処分場の延命化を図る方策として破砕処理施設を有する民間業者に処理委託 ※前年度評価結果 A一継続/現状維持	最終処分場の延命化を図る方策	(実施内容等) ・廃木材は、形成物のまま埋立処理するには、容量が多すぎるため最終処分場の延命化を図る方策として破砕処理施設を有する民間業者に処理委託 ※前年度評価結果 A一継続/現状維持	最終処分場の延命化を図る方策
項	笙/	期総合計画	11 国連	作	度目標値					111111111111111111111111111111111111111	処理量50t
	, zp -	(継続有り			度達成率		100%	100%		101%	
		\ 415 470 D 7	,		<u>皮 達 成 平</u> 体 達 成 率		20%	40%		79%	
					<u>床 是 水 干</u> 業進捗状況		☆☆☆☆	**	***	☆☆☆☆	***
				于	ヘヘニッツハル						7777

事業名 廃木材等処理	事業		評価者 管理職 職氏名 評価者 作成者 職氏名		渡邊孝司 苦米地幸二	平成24年度実施 平成25年度評価
■ 市政市業の口が 一方	Z (DL D)		1	·		上 一 一 一 八八八十 八八八十 八八八十 八八八十 八八八十 八八八十 八八
■事務事業の目的・内容				望ましい指標(目的達成状況を		
【誰、何が(対象)】	町民から排出される	廃木材 ————————————————————————————————————		最も端的に表す理論上の成果指	廃木材の埋立回避	
				<u>標)</u> 指標(指標計算式/解説)		び実績値
【抱える課題やニーズは	】 最終処分場の延命化	Ł		11 (11 (11)) (1)	日標 度 日標 年 度	マ成24 年度
					目標値	250 t
				→ 計画内(前期)の最終処分 場への埋立回避総量(t)	実績値	243 t
【どのような状態になるこ	·とを 廃木材の埋立回避			場への母立回歴総重(t)	達 成 度	97.2 %
目指したのか(意図)】	ルババラの生立口を					
				2	目標 年度 目標 値	年度
【その結果、どのような成					実績値	
実現したいか】	新たな経費負担(廃	棄物処分場の建設)の回避				//DT/ //OLO/
※成果=目的 ————————			1		達成度	#DIV/0! %
	廃木材処理委託		 廃木材の処理を委託することに	こより、最終処分場への埋立の回避		
【内容(どのような手段で	何を					
行ったか】						
			+			
				B:ほぼ計画どおりに進ん	でいるが目標を達成していない。事	
必要	義務的なもの		かには、廃木材の埋立回避は有刻 ある。	D:事業効果が表れていな	ていない。事業規模、内容、実施主 い。事業の統合、休・廃止の検討が	必要 等
必要/概ね必要	全部			自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
<mark>/</mark> 課題あり	□□□部			⊿ ∧		
(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)		最終処分場の延命化を図る		
有効	定した目標値の達成状況		れており、最終処分場の延命化が			
	☑ 達成	図られている		必要であり、本事業は埋立		
有効/概ね有効	□ <mark>ほぼ達成</mark>			量を減らす有効な手段であることから、計画通り事業を		
<mark>/</mark> 課題あり	□ 下回る			■ 進めることが適当と判断する	5	
(3)事務事業の効率性(れたか、計画上のコストを下げるエ	夫をしたか)			
41 -4- 22	判断の理由		の事業系ごみ処理料金と同額程] <u> </u>	<u> </u>	
効率的	事業費抑制	度であり、コストに見合った効果	が得られている	人类の展開士台		
効率的/概ね効 の	□ <mark>人員削減</mark> □ 時間短縮·作業軽減			今後の展開方向 (Action)		
率的/課題あり	✓ その他			(Action)		
(4)事務事業の公平性		•		継続/現状維持		V
(4)事務事業の公平性	判断の理由	排出量に対し応分の手数料を負	自扣する観占から公平である。	廃木材については、形成物		
公平	☑ 受益者負担がある			のまま埋立処理するには、		
	□ 受益者負担がない			容量が多すぎるため、最終		
公平/概ね公平	□ 受益が一部に偏る			処分場の延命化を図る方策		
<u> /公平でない</u>	□ <mark>その他</mark>			として、現状維持が適当である。	P	
■その他特記事項(アン	ケート調査など外部評価を	受けた場合は、その旨記入)		ි ම		
				7 L		
				※展開方向の区分		
				│ │ │ ○継続/現状維持又 │ │ ○終了 ○休止	は拡充又は縮小又は統合又は内 - 〇廃止	容の見直し・変更
					○戌⊥	

政策目標 4 うるおい・雄武~生活環境·生活基盤の充実~	会 計 区 分	1 <mark>一般会計</mark>	【全体計画内容】 ※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策 15 環境の保全 単位施策 4 ごみ・し尿処理の推進	事 業 優 先 度	С	
事業名 浄化槽整備事業	政策事務分類	1 単独自治事務(例規)	
事業期間 平成20年度~平成24年度	担当課	4 住民生活課	
事業主体 町 事業指標 合併処理浄化槽設置者補助件数	関 係 課	10 <mark>建設水道課</mark> #N/A	
事業目標 35戸	ハート・/ソフト 事業区分	1 <mark>ハード事業</mark>	
住民参加 2 住民協働 2	関係例規·法令名 関係個別計画名	2 水質汚濁防止法·浄化槽法 1 一般廃棄物処理基本計画	

		全	体	計	画	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
	-	事	業	内	容	事 業 内 容	事 業 内 容	事業内容	事業内容	事 業 内 容
	実さ [.] 合併		はへの環境 設置者へ	境負荷 への補助		住民アンケート調査・現在、建設水道課において幌内・			住民説明会	合併浄化槽設置者への補助金の 交付 ・35戸(アンケート調査による) ・5人槽
画						沢木地区下水道事業計画があり 未実施。				
内										
容										
計	事		(千円)		43,295	0	0	0	0	,
画事	財源	国庫支道 支上			4,375					4,375
事	源	地方			<u> </u>					
業	内	その			0					
費	訳	一般具			38,920					38,920
中	事	業費	(千円)		11,903	0	0	0	0	11,903
緒	財	国庫支			1,410					1,410
実績事	財 源	道支出			0					
業	内	<u>地方</u> その			0					
費	訳	一般則			10,493					10,493
		テレック (2) (2) (表 2) (a	細等)		10,430	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等) ・住民説明会(合併浄化槽事業の 概要) 開催場所~6か所	(実施内容等) ·部内会議開催 ·条例制定	(実施内容等) 合併処理浄化槽設置補助 合併処理浄化槽維持管理補助
関連				【評	価・実績】				·議員全員協議会開催	
事							※前年度評価結果 C一継続/内容の見直し・変更	※前年度評価結果	※前年度評価結果	※前年度評価結果 A一継続/現状維持
項	第	4期総合計画				住民アンケート実施		//D = 1 / D =		35戸
		(継続無し	.)	4	度達成率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	27% 27%
					: 体 達 成 率 事業進捗状況		0%	0% ☆☆☆☆	0% ☆☆☆☆	<u>21%</u> ☆☆☆☆
				手	未些沙仏儿			имии	и и и и	ммм

事業名	匕槽整備事業			評価者 管理職 職氏名 評価者 作成者 職氏名	住民生活課長 環境衛生係長	渡邊 孝司 苫米地 幸二	平成24年度実施 平成25年度評価
■事務事業の	·目的•内容(Plan	•Do)					十次20千尺計画
事務事業の 【誰、何が(対象		下水道区以外全戸			望ましい指標(目的達成状況を 最も端的に表す理論上の成果指	設置者への補助件数	
【抱える課題や	⁵ ニーズは】	生活雑排水未処理放涼	たによる公共水域への環境負荷		指標(指標計算式/解説)	目標値及 目標年度 目標値	び 実 績 値 平成24 年度 403 件
【どのような状 目指したのか(態になることを (意図)】	生活雑排水処理の充乳	Ę		設置者補助件数	実績値	8件 2.0 %
【その結果、ど 実現したいか】 ※成果=目的		下水道整備との連携で	生活排水処理率を向上させる		維持管理者補助件数	目標 年度 目標 値 実績 値 達成 度	平成24 年度 20 件 3 件 15.0 %
		合併処理浄化槽設置者	省に対する補助金の交付	合併処理浄化槽設置に係る経費	貴の95%相当分の補助(人槽により	J上限有)	
【内容(どのよ [・] 行ったか】	うな手段で何を	合併処理浄化槽維持管	管理に関する補助金の交付	合併処理浄化槽維持管理費(法	定検査及び保守点検)の一部を補	助(上限25, 000円)	
	存事業との機能 □	重複や見直しによる対応 義務的なもの 全部 一部	な可能性) <mark>│</mark> 公共用水域の水質保全、快適	るか。当該事業を実施しない場合 な居住環境を確保するためには、 必要があり、必要な事業と判断す	B:ほぼ計画どおりに進んで C:当初の計画を達成できて D:事業効果が表れていない 自己評価(一次評価)	る。目標が達成された。今後も計画いるが目標を達成していない。事業 いない。事業規模、内容、実施主体、 。事業の統合、休・廃止の検討が、 評価会議評価(二次評価)	美の進め方に改善が必要 等 本等の見直しが必要 等
		る効果が得られたか)			■ C 合併処理浄化槽の普及は、公	С	
課題あり 情効/概ね有効 /課題あり	<mark>設定した</mark> ☑ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	日標値の達成状況 達成 ほぼ達成 下回る		処理浄化槽の設置者が増加傾向 実が図られているが、計画数の半	共用水域の水質保全を行う上 で有効な手段であり、下水道処 理区域外の生活排水処理を充 実させるため必要な事業である が、自己負担も伴う事業である	同左	
(3)事務事業 <i>(</i> 効率的	1	□見合った効果が得られ 判断の理由 事業費抑制		工夫をしたか) 処理浄化槽の設置に係る見積書を 詳細の確認を行っていることから、	ため、事業規模、期間等の見直しが必要である。		
効率的/概ねஜ 率的/課題あり	h 🗌	人員削減 時間短縮・作業軽減 その他	事業費が抑制されている。		今後の展開方向 (Action)		
(4)事務事業(継続/内容の見直し・変更	継続/内容の見直し・変更	
公平 公平/概ね公平 /公平でない	F	判断の理由 受益者負担がある 受益者負担がない 受益が一部に偏る その他	生活雑排水の処理の充実は、 住環境の快適性の向上を図る る。	象であるが、下水道処理区域外の公共水域の水質保全に寄与し、居ものであることから公平と判断す	排水処理を充実させ、公共 水域への環境負荷を解消す るため、必要な事業でありま すので、実績等を勘案し今 後の事業規模及び期間等の	同左	
■その他特記	事項(アンケート	調査など外部評価を受り	ナた場合は、その旨記入)			拡充又は縮小又は統合又は内容 〇廃止	学の見直し・変更

政策目標	4 うるおい・雄武	会	計	区	分	1	一般会計	【全体計画内容】	※前期実施計画期間外	の計画期間を有する場合のみ記載
	15 環境の保全 4 ごみ・し尿処理の推進	事	業優	· 先	度		В			
単位施策事業名	発生の 廃棄物焼却処理場ショベルローダ購入事業	政	策事	務 分	類	2	単独自治事務(個別計画)			
	平成24年度	見切	直し	<u>,年</u>	度理	1	住民生活課			
事業主体	町	関	= 係	<u>. </u>	_ 陈 課	4	ECL工作課 #N/A			
	適正円滑なごみ処理及び処理施設維持のためのショベルローダ更新					1	#N/A			
事業目標 住民参加		ハート 関係	<u>・/ソフト</u> 系 例 規	, ,,,,,		2	<mark>ハード事業</mark> 廃棄物処理法	•		
住民協働	2	関(系 個 別	」計 画	名	1	一般廃棄物処理基本計画	1		

	全体	計画	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
	事業	内 容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容
計	老朽化したショベルローゲ 適正円滑なごみ処理及で (ショベルローダ 1台車	び処理施設の維持を行う					ショベルローダ 1台更新 (バケット容量:1.3㎡)
画							
内							
容							
<u> </u>	事業費(千円)	7,000	0	0	0	0	7,000
計画事		7,000	0	<u> </u>			7,000
画	財 国庫文出金	0					
業		0					
費		0					
	一般知识	7,000					7,000
実	事業費(千円)	6,521	0	0	0	0	6,521
績	財	0					
事	源地方債	0					
業費	内その他	0					
貝	一般財源	6,521					6,521
関	(特定財源の詳細等)		(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等) ショベルローダ 1台購入 (バケット容量:1.3㎡)
送		【評 価・実 績】					
連							
事			※前年度評価結果	※前年度評価結果	※前年度評価結果	※前年度評価結果	※前年度評価結果
- - -							
項	第4期総合計画関連	年度目標値					1台
	(継続無し)	年度達成率	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	93%
		全体達成率	0%	0%	0%	0%	
		事業進捗状況					☆☆☆☆

事業名	廃棄物焼却処理場	易ショベルローダ購入事業		評価者 管理職 職氏名 評価者 作成者 職氏名	住民生活課長 環境衛生係長	渡邊孝司 苦米地幸二	平成24年度実施 平成25年度評価
■車扱車券	の目的・内容(Plan	•Do)					1 7%20 千/文 計 岡
事務事業 【誰、何が(廃棄物処理用ショベルロ	コーダ		望ましい指標(目的達成状況を 最も端的に表す理論上の成果指	更新車両台数	
【抱える課題	夏やニーズは】	車両の老朽劣化により3 に支障をきたしている	安定した稼働に支障があり、施設の	の維持管理及び適正なごみ処理	標) 指標(指標計算式/解説) ①	目標値及 目標年度 目標値	び 実 績 値 平成24 年度 1 台
【どのような 目指したの	状態になることを か(意図)】	適正なごみ処理及び施	設の適正維持管理を行うための事	重両の更新	更新車両台数 ②	実績 値 達成 度 目標 年度	1 台 100.0 % 年度
その結果、 実現したい ※成果=目		車両の安定した稼働いる	よる適正なごみ処理及び施設の適	正維持管理		日 標 値 実 績 値 達 成 度	#DIV/0! %
		ショベルローダ(1. 3㎡)	の購入	 指名競争入札による車両の購入	<u> </u>		
【内容(どの 行ったか】	ような手段で何を						
(1)事務事		.一ズ、社会情勢に照らし 重複や見直しによる対応	して妥当か、町が担う必要がある <i>だ</i> 可能性)	か。当該事業を実施しない場合		いる。目標が達成された。今後も計画 ごいるが目標を達成していない。事業	
必要 必要/概ね』	以要 「	義務的なもの 全部	本車両は焼却処理場の維持管理 必要な車両であることから、車両			ていない。事業規模、内容、実施主体 い。事業の統合、休・廃止の検討が、 │ 評価会議評価(二次評価)	
/課題あり		一部			A		· 3 241 lbs / 241 lbs/
	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	る効果が得られたか) 目標値の達成状況]車両を更新したことにより、車両フ	が安定 <i>て</i> 稼働されており 施設	計画どおり車両の更新がなされ、施設の維持管理及び		
有効	✓		の維持管理及び適正なごみ処理		適正なごみ処理がなされている。		
有効/概ね [;] /課題あり		下回る			U 1/00°		
(3)事務事	業の効率性(コストに	こ見合った効果が得られた	たか、計画上のコストを下げるエメ	きをしたか)	_		
効率的	J	判断の理由 事業費抑制 人員削減	指名競争入札による購入である。 る。 車両の修繕に係る経費が減額さ		今後の展開方向		
効率的/概2 率的/課題	<mark>a効</mark> 📗	時間短縮・作業軽減 その他	7 13 30 13 411 - 18. 642 56. 42.42.	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	(Action)		
	業の公平性				終了		V
公平		判断の理由 受益者負担がある 受益者負担がない	ごみ処理は、町内の環境・公衆衛 平と判断する。	衛生の維持に必要なものであり公			
公平/概ねつ	公平	受益が一部に偏る					
<mark>✓公平でない</mark> ■その他特		<mark> その他</mark> 調査など外部評価を受け	た場合は、その旨記入)		<u>'</u>		
						<u>│</u> は拡充又は縮小又は統合又は内容 ○廃止	字の見直し・変更

政策目標 4 うるおい・雄武~生活環境・生活基盤の充実~	会 計 区 分	1 一般会計	【全体計画内容】 ※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策 19 消防・救急・防災体制の強化 単位施策 1 災害予防対策・危機管理対策の強化	事業優先度	А	
事業名 地域ぐるみ防災推進事業	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)	
事業期間 平成20年度~平成24年度	<u>見直し年度</u> 担 当 課	4 住民生活課	
事業主体。雄武町	関係課	2 財務企画課	
事業指標 実践事業の推進 事業目標 各年度	ハート・/ソフト 事業区分	#N/A 2 ソフト事業	
住民参加 4 住民 白沙石等上の連携	関 係 例 規・法 令 名	2 プクドデ木	
住民協働 「日本民・日本会等との連携	関係個別計画名		

任氏	加倒									闰	1糸 個)	別計區	当 石												
		全_	体	計	画			रे 20 ई			平成 2					22 :				平成				平成 24	
		事	業	内	容		事	業内	容		事業	内容			事	業内	容			事業	<u> </u>	容		事業内] 容
	今後国	D際の地域 実践が必要 J組み強化る	な事項の)調査∙			調査∙検討			実践事業	業の推通	<u>隹</u>			事業の推 川練の実				実践事態避難訓練					実践事業の推進 避難訓練の実施	
画																									
内																									
容																									
÷Τ	事	業費	(千円)			1,500			C)			0					500					500		500
計	п	国庫支	出金			0																			
画	財源	道支上				0																			
事	源	地方				0																			
業	扚	その	他			0																			
費	訳	一般具	オ 源			1,500												500					500		500
	事		(千円)			1,238			()			0					278					468		492
実 績		国庫支				0			-																
積	財源内	道支出				0																			
事	源	地方	<u></u>			0																			
業	찟	その	他			0																			
費	訳	一般月				1,238				1				1				278					468		492
	() 土 。	定財源の詳				.,230	(実施内容等	<u>+</u> \		(実施内				(宝佐	内容等)	١		_	(実施内					(実施内容等)	,02
関連	(行)	に別 <i>ル</i> 尿Ⅵ詳	· 柳 寸 /	【評	価・		(美施内谷等 海岸沿い並び 治会に対し、 置を依頼。 鉄 難確認や誘 を進めた。	びにその 自主防 後害弱者	災組織の設 に対する避	北海道総合はおいますの出席している基本	総合防災 し、防災 大的なノ	訓練の	実施に関	魚田均	也区を対	象に総	総合防災詞 加	訓練	(美施内 町内17 訓練を3	'自治会	が参	加し総が参加	合防災	(美施内容等) 町内17自治会が多 訓練を実施。363名	
事項							※前年度評	価結果			A一継糸		Ť	C一組			見直し・変	更		B一継		拡充		※前年度評価結果 B一継続ノ	
垻	第4	Ⅸ総合計Ⅰ			F 度 目:		調査・検討			事業の技				事業0	り推進				事業の	推進				事業の推進	
		(継続無し	.)		F 度 達			#DIV/0!			#DI	IV/0!						56%					94%		98%
					体達				0%				0%					19%					50%		83%
				員	事業進捗	状況	☆☆☆			☆☆☆				\$ \$ ₹	₹				☆☆☆					**	☆

平成24年度実施

平成25年度評価

平成24 年度

100.0 %

平成24 年度 17 団体

5.9 %

1 回

1 回

1 団体

事業名 地域ぐるみ防	ī災推進事業		評価者 官埋職 職氏名	性民生活課長 住民活動係長	渡邊 孝可 一	平
			计侧台 作戏名 概以名	正氏冶轫床及		
■事務事業の目的・内容	字(Plan•Do)					
誰、何が(対象)】	町民			望ましい指標(目的達成状況を 最も端的に表す理論上の成果指	。 総合防災訓練の実施回数、自主	防災組織の整備数
	少时什白主味《组织	歳の整備割合が低く、災害時における	7.組織的かつ田温か住民渡難に	標) 指標(指標計算式/解説)		び実績値
抱える課題やニーズは	:	戦の金浦割占が低く、火舌時にあげる	る祖献的がプロ消な住民連邦に	11 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	目標年度	<u>び 美 槇 旭</u> 平成24 年
	1.27.000.				目標位	<u> </u>
				╅ おおり	実績値	1 🖪
どのような状態になるこ	ことを 自治会単位で自主防	5災組織の整備を進めるとともに、地	!域毎で定期的に防災訓練を行	1.5 2 1555 (2.14)		
指したのか(意図)】	い、住民の防災意識				達成度	100.0 %
				2	目標年度	平成24 年
その結果、どのような成	以果を			+ > == /// /= /#\	<u></u>	17 🖯
『現したいか】		連携し、死傷者を出さないまちづくり。		自主防災組織の整備数	実 績 値	1 🗔
《成果=目的					達 成 度	5.9 %
	総合防災訓練の実施		平成24年11月に17自治会おい	て津波を想定した避難訓練を実施	 Lt:。	
内容(どのような手段で	で何を					
テったか】						
■事務事業の評価(Che		る ないで妥当か、町が担う必要がある	か、当該事業を実施したい提合	■総合評価【A~D】	いる。目標が達成された。今後も計画	□涌川車業を進める ⁻
の支障、既存事業と	の機能重複や見直しによる対	はいる。 はいないではない。 はないないではない。	が。ヨ政事業を天旭しない場合		でいるが目標を達成していない。事業	
	義務的なもの	東日本大震災発生より新たな津	津波対策が求められており、今後	C: 当初の計画を達成でき	ていない。事業規模、内容、実施主体	
			訓練の実施等、有事の際に地域		い。事業の統合、休・廃止の検討が。	
要/概ね必要	全部	が連携し、死傷者を出さないまた。	ちづくりのため必要である。	自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三
<mark>´課題あり</mark>	□ <mark> 一部</mark>			┙	С	
	期待する効果が得られたか			避難訓練については、計画		
課題あり <mark>設</mark>	定した目標値の達成状況	昨年に引き続き全自治会を対象	象に津波を想定した防災訓練を実	通り年1回実施し、主要避難		
	達成		民が避難に関するノウハウの再			
i 効/概ね有効 /課題あり	□ <mark>ほぼ達成</mark> ☑ <mark>下回る</mark>		災組織の整備については整備が	より実践に近い訓練となっ	同左	
	v ruo	進れている。		た。また、自主防災組織の		
3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得ら	れたか、計画上のコストを下げるエ	夫をしたか)	整備が進んでいないため、		
	判断の理由	訓練参加者への啓発用品として	「防災グッズを購入・配布した他、	更なる取組が必要である。		
効率的	□ 事業費抑制		の講習会や血圧測定など実施し			
	□ <mark>人員削減</mark>	たことにより、防災に対する意識	跋向上が図られた。	今後の展開方向		
b <mark>率的/概ね効</mark>	□ <mark>時間短縮·作業軽減</mark>			(Action)		ــال
⊠的/課題あり	✓ その他					
4)事務事業の公平性				継続/拡充	継続/拡充	
	判断の理由		のであり、町民の防災意識の向	今後も、避難訓練を実施し、		
公平	□ 受益者負担がある	上が図られており、公平性は担	保されている。	町民の防災意識の高揚を図		
	□ 受益者負担がない			るとともに、全町単位で自主		
:平/概ね公平	□ 受益が一部に偏る			防災組織化を推進する必要		
′公平でない	✓ その他			■ があるが、ここ数年で、自主 広災知嫌を立たしばる自治		
■その仏性司車で(マヽ	,ケ	呉けた担合け その旨司 1)		防災組織を立ち上げる自治 会も多少出てきている。		
ての心付記事項(プン	ソート胴直など外部評価を	受けた場合は、その旨記入)		大切ダグ山(さんいる。		
				※展開方向の区分		
					は拡充又は縮小又は統合又は内容	3の目直 ■変面
				○極税/ 現仏維持人		かんにし 冬丈

■総合評価【A~D】

住民生活課長 住民活動係長

- A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
- B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等

渡邊 孝司

- C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要等
- D:事業効果が表れていない。事業の統合、休·廃止の検討が必要 等

	か致れ しいない	<u>^、。尹未の礼口、怀·廃止の候討か</u>	<u> </u>
自己評価	一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
		С	
避難訓練につ 通り年1回実施 所において心 習や実践に追い た。また、自主 整備が進んで 更なる取組が	もし、主要避難 肺蘇生法の講 などを行い、 い訓練となっ 防災組織の いないため、	同左	
今後の展開	方向		

継続/拡充	継続/拡充	
今後も、避難訓練を実施し、 町民の防災意識の高揚を図 るとともに、全町単位で自主 防災組織化を推進する必要 があるが、ここ数年で、自主 防災組織を立ち上げる自治 会も多少出てきている。	同左	

※展開方向の区分

- ○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
- 〇終了 〇休止 〇廃止

政策目標 4 うるおい・雄武	会計区分	1 <mark>一般会計</mark>	【全体計画内容】※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策19消防・救急・防災体制の強化単位施策1災害予防対策・危機管理対策の強化	事 業 優 先 度	В	
事業名 北海道総合行政情報ネットワーク更新整備事業	政策事務分類 見 直 し 年 度	3 <mark>単独自治事務(その他)</mark>	
事業期間 平成24年度	担当課	4 住民生活課	
事業主体 北海道 事業指標 北海道総合行政情報ネットワーク市町村局の老朽更新	関 係 課	#N/A #N/A	
事業目標 老朽更新工事一式	ハード/ソフト 事業区分	1 <mark>ハード事業</mark>	
住民参加	関 係 例 規・法 令 名	⇒	
住民協働	関係個別計画名		

国庫支出金 0	ЦΛ	加ツ							医保恒剂引回石			
本語学会行政ネリケークは、国の開設業再編												
日本			事	業	内	容		事 業 内 容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容
書 東 貫 (千円) 2430 0 0 0 0 2,430 画 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東 東		に伴し でとな ている	ヽ現行シス っており、 らことから、	テムの使り 新システム 各市町村	用期限が ムへ移行 において	が平成24 テすること	年度ま になっ					市町村局老朽更新工事 (負担金拠出)
計画 東 東	内											
国庫支出金 0 1 1 1 1 1 1 1 1 1	容											
事業	≑Ť	事					2,430		0	0	0	2,430
事業	山山	B+					0					
業 内	車	河	道 支	出 金			0					
費 記 C 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0							0					
支機 大阪 M M 2,430 2,439 0 0 2,419 調度 国庫支出金 0 0 2,419 財	弗	記					0					
対	只											
横	宔	事					2,419	C	0	0	0	2,419
事業 内内 方 債 2,400 2,400 ま の 他	着	財					0					
業 内 元 万 億 元 万 他 7 0 他 7 0		源					0					
費 記 での財源 19 19 (特定財源の詳細等) 地域活性化・経済危機 対策臨時交付金 (実施内容等) (実施内容等) (実施内容等) (実施内容等) 運車 ※前年度評価結果 ※前年度評価結果 ※前年度評価結果 ※前年度評価結果 ※前年度評価結果 事 第4期総合計画関連 年度 目標値 本ットワーク更新一式(継続無し) 年度達成率 #DIV/0! #D		内					2,400					2,400
T	費						0					
地域活性化・経済危機 対策臨時交付金 【評価・実績】 北海道総合行政情報ネット ワーク機器更新 事 ※前年度評価結果 ※前年度評価結果 ※前年度評価結果 ※前年度評価結果 事 第4期総合計画関連 (継続無し) 年度 直標値 年度達成率 オットワーク更新一式 伊区達成率 カットワーク更新一式 100% 全体達成率 100% 2 体達成率 100% 2 体達成率 100% 2 体達成率		н	一般	財 源			19					
事 ※前年度評価結果 ※前年度評価結果 ※前年度評価結果 ※前年度評価結果 ※前年度評価結果 項 第4期総合計画関連 年度目標値 ネットワーク更新一式 (継続無し) 年度達成率 #DIV/0! #DIV/0! #DIV/0! #DIV/0! #DIV/0! 100% 全体達成率 0% 0% 0% 0% 0% 0%	関	地域流	舌性化•経	済危機	【評	価・実	€ 績】	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	北海道総合行政情報ネット
項 第4期総合計画関連 年度目標値 ネットワーク更新一式 (継続無し) 年度達成率 #DIV/0! #DIV/0! #DIV/0! #DIV/0! #DIV/0! 100% 全体達成率 0% 0% 0% 0% 0%	進											
第7分配日間日間建 平度日保恒 (継続無し) 年度達成率 #DIV/0! #DIV/0! #DIV/0! #DIV/0! 100% 全体達成率 0% 0% 0% 0% 100%	事							※前年度評価結果	※前年度評価結果	※前年度評価結果	※前年度評価結果	※前年度評価結果
(継続無し) 年度達成率 #DIV/0! #DIV/0! #DIV/0! #DIV/0! #DIV/0! #DIV/0! 100% 全体達成率 0% 0% 0% 0% 0% 100%	項	第4	1期総合計	·画関連	丘	度日煙	■値					ネットワーク更新一式
全 体 達 成 率		, ,, ,			年	度達成	这座	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!		
			.4-1707111		全	体達成	这率					
					事	業進捗	大 況					***

事業名北海道総合行政	情報ネットワーク更新整備事業	評価者 管理職 職氏名 評価者 作成者 職氏名		渡邊 孝司 南 慎一	平成24年度実施 平成25年度評価
■事務事業の目的・内容(P	lan•Do)				_
【誰、何が(対象)】	北海道総合行政情報ネットワーク		望ましい指標(目的達成状況を 最も端的に表す理論上の成果指	改修工事件数	
	国の周波数再編に伴い現行システムの使用期限が平成	ina在由士でした。ても川 並こっ	標)		, 7° 中 娃 店
【抱える課題やニーズは】	国の周波数再編に伴い現行システムの使用期限が平成 テムへ移行することになっている	(24年度まじとなりしのり、	1	日標年度	<mark>び実績値</mark> 平成24年度
			_ ┃ 改修工事件数	目標値 実績値	1 式 1 式
【どのような状態になることを	また。 国の周波数再編に伴う新システムへの移行。		以修工事什奴		100.0 %
目指したのか(意図)】	国の周級数符編に任力制ンステムへの移行。		2	目標年度	年度
【その結果、どのような成果	±.		┨ ~	目 標 値	+ 段
実現したいか】	光ケーブルによる通信となることにより送受信可能なデー間で大量の情報の発信・受信が可能となり、的確な情報			実 績 値	
※成果=目的	間で入事の情報の発信・受信が可能となり、的確な情報	(伝達が美現する。		達成度	#DIV/0! %
	北海道総合行政情報ネットワーク更新	北海道総合行政情報ネットワー	-クのシステム更新		
【内容(どのような手段で何る 行ったか】	*				
-					
必要 /概ね必要	■ <mark>我傍りなもの</mark> おいても必要な事業である。 ■ <mark>全部</mark>	こ整備が進められており、当町に	C: 当初の計画を達成できて	いるが目標を達成していない。事 いない。事業規模、内容、実施主 い。事業の統合、休・廃止の検討が 評価会議評価(二次評価)	体等の見直しが必要 等
<mark>/</mark> 課題あり	一一部		_ A		
(2)事務事業の有効性(期待	まする効果が得られたか) 10月間にあるまでは、同じている。		当初の計画どおり、改修を		
	<mark>た目標値の達成状況</mark> 設計どおり改修工事を行い、国 ☑ <mark>達成 への</mark> 移行を終えた。	の周波数再編に伴う新システム	終えた。		
有効/概ね有効	□ <mark>ほぼ達成</mark>				
<mark>/課題あり</mark>	□ <mark>下回る</mark>		_		
(3)事務事業の効率性(コス	トに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工 判断の理由	<u>夫をしたか)</u> り事業費が抑制され、また、購入	- I		
概ね効率的	☑ 事業費抑制 に係る事務作業の軽減も図られる				
	<mark>人員削減</mark>✓ 時間短縮·作業軽減		今後の展開方向 (Action)		
率的/課題あり	□ <mark>その他</mark>		(Accion)		
(4)事務事業の公平性			終了		
A 70		可能となり、町民に素早く情報を伝			
公平	□ 受益者負担がある□ 受益者負担がない□ 受益者負担がない		短時間での大量情報の発 信・受信が可能となり、的確		
公平/概ね公平	□ 受益が一部に偏る		な情報伝達が実現する。		
<u>/公平でない</u>	□ <mark>その他</mark>		-		
■その他特記事項(アンケー	-ト調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)		- I		
			※展開方向の区分 〇継続/現状維持又に 〇終了 〇休止	└ は拡充又は縮小又は統合又は内 〇廃止	・ 容の見直し・変更

政策目標 4 うるおい・雄武~生活環境・生活基盤の充実~	会 計 区 分		【全体計画内容】※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策 20 防犯・交通安全の推進	事業優先度	В	
単位施策 1 防犯体制の強化 1 防犯体制の強化	7/ // 7/7 /\ \\\ \\\ \\ \\\ \\ \\ \\ \\ \\ \\ \\		
事 業 名 興部地区防犯協会連合会運営事業	<u>政策事務分類</u> 見直し年度	3 単独自治事務(その他) 	
事業期間 平成20年度~平成24年度	担当課	4 住民生活課	
事業主体町	関 係 課	#N/A	
事業指標団体の安定運営		#N/A	
事業目標 1団体	ハート・/ソフト 事業区分	2 <mark>ソフト事業</mark>	
住民参加	関 係 例 規・法 令 名		
住民協働	関係個別計画名		

		全	体	計	画		亚战	20 年度	1	亚战 "	21 年度		平成 22 年		ᄑᄫ	23 年度		平成 24 年度
		<u>工</u> 事	<u>严</u>	<u></u> 内	<u></u> 容			<u> </u>	-		<u>- 1 年及</u> 内容		事業内			<u>、 25 平度</u> 業 内 容		事業内容
	雄武町 ている 一ル、	世区防犯協会 対、興部町、 の団体で、地 チラシ等の 策の啓発を行	会連合会 西興部は 域安全選 配布によ	会負担金 村の2町 軍動を中 より防犯	- 1村で約 小に防	組織され i犯パトロ	興部地区防犯 負担金		興部 負担	地区防犯性	<u>的</u> 。		興部地区防犯協会連 負担金			犯協会連合会		興部地区防犯協会連合会 負担金
内																		
容																		
計	事		(千円)			873		18	36			186		167			167	167
画	財	国庫支出				0			_									
画事	財源	道支出				0			_									
業	内	地方				0												
費	訳	<u>その</u> 一般則	他 # 酒			873		18	06			186		167			167	167
	事		<i>1 版</i> (千円)			854			36			167		167			167	
実績	-	<u>未 貝</u> 国庫支出				004 0		10	00			107		107			107	107
績	財源	道支出				0			-									
事	源	<u> 地方</u>				0												
業費	内訳	その				0												
貝	八	一般則	オ 源			854		18	36			167		167			167	167
関連事	(特)	定財源の詳	細等)	【評	価・	実 績】	配布など、安心送ることができ進している。 ※前年度評価	るよう活動を推	詐欺配布送る。進し	など、安心 ことができ ている。 年度評価		を 推	(実施内容等) 詐欺被害防止の啓発・配布など、安心な住民 送ることができるように 進している。 ※前年度評価結果	生活を 5動を推	配布など、多送ることがで進している。 ※前年度評	止の啓発チラシ で心な住民生活 きるよう活動を 価結果	を	(実施内容等) 詐欺被害防止の啓発チラシの 配布など、安心な住民生活を 送ることができるよう活動を推 進している。 ※前年度評価結果
項		. #5 <i>6</i> 0		,		I		/現状維持	1		/現状維持		A−継続/現状:	雅		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		A-継続/現状維持
月均	第4	1期総合計画			度目		1団体		1団位	<u> </u>			1団体		1団体		10.50	1団体
		(継続有り)		度達			100				90%		100%			100%	
1					体達		A A A A	2		A A		40%	A A A A	60%			79%	
				争	業進捗		$^{\diamond}$		☆☆	¥¥			***		***			***

事業名 興部:	業 名 興部地区防犯協会連合会運営事業			評価者 管理職 職氏名		住民生活課長	渡邊	平成24年度実施	
7 K 1 / /	·6 — [8] 30 [8] 4 ×			評価者 作成者 職氏名	1	住民活動係長	南	真一	平成25年度評価
■事務事業の目	目的•内容(Plan	•Do)							
						しい指標(目的達成状況を			
【誰、何が(対象	.)]	町民			最も	端的に表す理論上の成果指	地区防犯協会連合	合会数	
【抱える課題や二	ニーズは】	広域での防犯活動の実	施			指標(指標計算式/解説)			び実績値
EIDIC OBKE (-	_ > \ 10\2				1		目標_		平成24 年度
					-∦	日本の中央選挙	目 標		1 団体
【じの トンナン仕能	81-+>Z - L+.	地域な足の味知辛強の)高揚や地域安全活動の実施のた	め 今を空中軍党士スコレジル		団体の安定運営	実 績	値	1 団体
【どのような状態 目指したのか(意		地域住民の防犯息職の 要。	「「「「「「「」」」	(A)、云を女正理呂9 ることが必			達成	度	100.0 %
ロヨロにのが、危	S 🖾 🖊	女。			2			年 度	年度
	- 1 - 4 - B - B - 4				\dashv		目標		——————————————————————————————————————
【その結果、どの	りような成果を	人の中ウ実営が回され	<u> </u>	- 					
実現したいか】 ※成果=目的		云の女正連名か凶られ 	、広域の防犯・地域安全活動の充	天で凶る。			達成	#	#DIV//OL 0/
次							達 成 	度	#DIV/0! %
		7 10 4 6 4 11		+ w	- 7 10	^ / - 			
		負担金の支出		事業実施に要した経費に対して	(貝担)	金を文出した。			
【内容(どのよう	な手段で何を								
行ったか】									
■事務事業の評	亚価(Chaok)					■総合評価【A~D】			
		ーズ・社会情勢に昭ら	して妥当か、町が担う必要がある	か 当該事業を実施しない場合			ス 日煙が達成さ	h た 会後も計画	画通り事業を進めることが適当 等
		重複や見直しによる対応							当風ノザネと短いることが 過 ゴーザー 業の進め方に改善が必要 等
			当連合会は、近隣町村で共通す	る問題・事案に対応するため、位	ム	C: 当初の計画を達成できて			
必要		義務的なもの	▋域の防犯活動団体として必要な			D:事業効果が表れていない	、事業の統合、休	・廃止の検討が	必要 等
必要/概ね必要		全部	運営のため必要なものである。			自己評価(一次評価)	評価会議評価	(二次評価)	町長評価(三次評価)
/課題あり		一部				I A			!
(2) 事務事業の	有効性(期待す	る効果が得られたか)				計画どおりに事業が実施さ			
	設定した	目標値の達成状況	安定した組織運営の下で各種事	業を展開しており、有効である。	7	れており、また事業見直しに			!
有効		達成		31C.22()11C 10C 71 11/1/2 103 00		よる事業費抑制に取り組む			
有効/概ね有効		ほぼ達成				など、効率的な団体運営が			
/課題あり		下回る				行われている。			!
(4) 市功市光の	*****/>!!	- 日人	ナム 引売しのニコレナエバスエー	+++ + +.\					!
(3)事務事業の 2		-見合つに効果が待られ 判断の理由	<u>たか、計画上のコストを下げる工</u> 各町村からの負担金額について		ŧ				
効率的		事業費抑制			义				
X) -T- h3		人員削減	」に取り組んであり、効率的な建設	らが天心で化ている。		今後の展開方向			
効率的/概ね効		時間短縮・作業軽減				(Action)			
率的/課題あり		その他				(,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		7	
	— 14		•			継続/現状維持	*		
(4)事務事業の		ul WC の T田 中		<u> </u>	_				
公平		判断の理由	町民全体を対象とした各種防犯	事果を付つ (いることから、公平	·	地域の防犯活動の推進に必要な団体であることから、今			
公平		受益者負担がある 受益者負担がない	_と判断する。			後も支援を継続する。			!
公平/概ね公平		受益が一部に偏る				及び又及と中型がある。			!
/公平でない		その他							!
■その他特記事	耳項(アンケート	調査など外部評価を受け	けた場合は、その旨記入)		_				
						WEBS-			
						※展開方向の区分	·最大又は彼少豆	けなるセナナ	なの目店L 本田
						│ ○継続/現状維持又は ○終了 ○休止	拡充又は縮小又 〇廃止	は杌古又は内名	30兄但し 変史
							し洗工		

政策目標 4 うるおい・雄武~生活環境・生活基盤の充実~	会計区分	1 <mark>一般会計</mark>	【全体計画内容】※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策 20 防犯・交通安全の推進	事業優先度	В	
単位施策 1 防犯体制の強化	事 未 俊 儿 伎		
事業名 雄武町防犯協会補助事業	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)	
	見直し年度		
事業期間 平成20年度~平成24年度	担 当 課	4 住民生活課	
事業主体町	関 係 課	#N/A	
事業指標は武町内の犯罪発生件数		#N/A	
事業目標 0件	ハート・/ソフト 事業区分	2 <mark>ソフト事業</mark>	
住民参加 1 防犯対策を行う当事者	関 係 例 規・法 令 名		
住民協働	関係個別計画名		

	全体	計画	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
	事業	内 容	事 業 内 容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容
=1	雄武町防犯協会補助金		雄武町防犯協会補助金	雄武町防犯協会補助金	雄武町防犯協会補助金	雄武町防犯協会補助金	雄武町防犯協会補助金
計	地域安全運動の実施、防パトロールのほか、新入が ボーの配布を行っており	学児童に対する防犯ブ					
画	とならないよう活動を補助						
内							
容							
計	事業費(千円)	750	150	150	150	150	150
画	財国庫支出金	0					
事		0					
業		0					
費	おおおおおおおおおおます。 その他 一般財源	750	150	150	150	150	150
	事業費(千円)	750		150			
実	国底支山全	730	100	100	100	100	100
績		0					
事業	源 地方債	0					
費		0					
	一般財源	750	150	150	150	150	150
	(特定財源の詳細等)		(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)
					防犯卓球大会や歳末パトロール		
88					のほか、新入学児童に防犯ブザ		のはか、新人学児里に防犯ノザ 一配布、防犯だよりの発行、イベ
関		 【評 価 ・実 績】		一郎巾、防犯だよりの発行、1へ ント時の啓発活動などを行って		一郎巾、防犯によりの発行、1へ ント時の啓発活動などを行って	
連				おり、町内の防犯活動を推進し		おり、町内の防犯活動を推進し	
~							ている。(24年発生11件)
事			※前年度評価結果	※前年度評価結果	※前年度評価結果	※前年度評価結果	※前年度評価結果
			A−継続/現状維持	A−継続/現状維持	A−継続/現状維持	A−継続/現状維持	A−継続/現状維持
項	第4期総合計画関連	年度目標値	0件	0件	0件	0件	0件
	(継続有り)	年 度 達 成 率	100%	100%	100%	100%	100%
		全体達成率	20%	40%	60%		100%
		事業進捗状況	☆☆	$\triangle \triangle \triangle$	***	$\triangle \triangle \triangle$	***

事業名 雄武町防犯協会社	補助事業		評価者 管理職 職氏名 評価者 作成者 職氏名	住民生活課長 住民活動係長	渡邊 孝司 南 慎一	平成24年度実施 平成25年度評価
■事務事業の目的・内容(PI	lan•Do)				·	
誰、何が(対象)】	町民			望ましい指標(目的達成状況を 最も端的に表す理論上の成果指標)	犯罪発生件数	
抱える課題やニーズは】	犯罪発生件数の減少			指標(指標計算式/解説)	目標値及 目標年度 目標値	び 実 績 値 平成24 年度 0 件
どのような状態になることを 指したのか(意図)】	犯罪が起きない・犯罪	を起こさない環境をつくる。		犯罪発生件数	実 績 値 達 成 度	11 件 #DIV/0! %
たの結果、どのような成果を 現したいか】 成果=目的	を 犯罪のない明るい町を	を実現する。			目標 年度 目標 値 実績 値 達成 度	年度 #DIV/0! %
	運営費補助金の交付		安定した組織運営を支援するた	ッ め、運営費補助を行った。		
内容(どのような手段で何を ったか】	F					
事務事業の評価(Check))事務事業の必要性(町民の支障、既存事業との機 必要 「世界である。」 「世界である。」 「世界である。 「世界である。」 「世界である。」 「世界である。」 「世界である。」 「中では、一つでは、一つでは、一つでは、一つでは、一つでは、一つでは、一つでは、一つ		応可能性) 犯罪の無い町づくりを推進	があるか。当該事業を実施しない場合 重するうえで活動の中心となる団体である。 営のため必要な事業である。	B:ほぼ計画どおりに進んて C:当初の計画を達成できて D:事業効果が表れていない 自己評価(一次評価)	いる。目標が達成された。今後も計 いるが目標を達成していない。事 いない。事業規模、内容、実施主 い。事業の統合、休・廃止の検討が 評価会議評価(二次評価)	体等の見直しが必要 等
				A		
(城ね有刻 <mark>効/概ね有効</mark> [た目標値の達成状況 □ <mark>達成</mark> ☑ ほぼ達成		ゼロは達成できなかったものの、各種 防犯意識向上を図ることはできたと判断	当初計画どおりに事業が実施され、町民の防犯意識向上が図られた。		
<mark>果題あり [</mark> ○事務事業の効率性(コス	□ <mark>下回る</mark> トに見合った効果が得ら	<mark>──</mark> したか、計画上のコストを下げ	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	_		
	判断の理由 ☑ 事業費抑制 ☑ 人員削減	■ 関係諸団体や警察と連携に努めており、効率的な事	して事業を実施することで事業費抑制 『業展開が行われている。	今後の展開方向		
<mark>率的/概ね効</mark> 内 <mark>/課題あり</mark> [□ 時間短縮·作業軽減 □ その他			(Action)		
事務事業の公平性				継続/現状維持		
公平 [判断の理由 受益者負担がある	町全体を対象とした防犯事保たれている。	事業を実施していることから、公平性は	犯罪の無い明るい町を実現 するため、防犯運動に対す る補助は今後も必要である。		
平/概ね公平 公平でない	□ 受益が一部に偏る □ その他					
その他特記事項(アンケー	-ト調査など外部評価を受	けた場合は、その旨記入)		,		
				┃ ┃ ※展開方向の区分 ○継続/現状維持又は ○終了 ○休止	 は拡充又は縮小又は統合又は内: ○廃止	Ⅰ 容の見直し・変更

政策目標 4 うるおい・雄武~生活環境・生活基盤の充実~	会 計 区 分	1 <mark>一般会計</mark>	【全体計画内容】※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策 20 防犯・交通安全の推進	事業優先度	В	
単位施策 1 防犯体制の強化 1 防犯体制の強化	7 th + 75 1) WT		
事 業 名 雄武町暴力追放運動推進協議会補助事業	<u>政策事務分類</u> 見直し年度	3 単独自治事務(その他) 	
事業期間 平成20年度~平成24年度	担当課	4 住民生活課	
事業主体町	関 係 課	#N/A	
事業指標団体の安定運営		#N/A	
事業目標 1団体	ハート・/ソフト 事業区分	2 <mark>ソフト事業</mark>	
住民参加 1 暴力追放を呼び掛ける啓発対象	関 係 例 規・法 令 名		
住民協働	関係個別計画名		

		全	体	計	画		17 E	戊 20 年度		平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
		<u>キ</u> 事	<u>严</u> 業	<u></u> 内	<u>□</u> 容			<u> </u>			事業内容	事業内容	事業内容
	1												
	協議会 してお からの	可暴力追放 会の事業展 り、産業観)露店出席	開として。 別光まつり 者が暴力	、暴力団 、雄武礼 」団関係	団排除運動 申社祭での 者かどうが	を推進)町外 いを確	雄武町暴力 会補助金	追放運動推進			雄武町暴力追放運動推進協議 会補助金	雄武町暴力追放運動推進協議 会補助金	雄武町暴力追放運動推進協議 会補助金
内内		暴力団関係 は活動であ											
容													
	事	業費	(千円)			225			45	45	45	45	45
計		木 貝 国庫支				223			40	43	+0	40	40
画事	財源	道支				0							
	源	地方				0						+	
業	内	その				0			-			+	
費	訳	<u>そり</u> 一般!				005			45	AE	1	1	45
	由					225			45	45			
実績			(千円)			225			45	45	45	45	45
績	財	国庫支道 支				0							
事	財源					0			-				
業	内	<u> 地 カ</u> そ の				0			-			+	
費	訳	<u>そり</u> 一般!				225			45	45	45	45	45
						220							
関連	(特) - - -	定財源の詩	詳細等)	【評	価・実	績】	暴力団関係め、イベントする活動を	つりや神社祭が 者の排除活動の安全確保に 推進している。	からの ji jを進 寄与 g	暴力団関係者の排除活動を進め、イベントの安全確保に寄与 する活動を推進している。	(実施内容等) 産業観光まつりや神社祭からの 暴力団関係者の排除活動を進 め、イベントの安全確保に寄与 する活動を推進している。	暴力団関係者の排除活動を進め、イベントの安全確保に寄与する活動を推進している。	(実施内容等) 産業観光まつりや神社祭からの 暴力団関係者の排除活動を進 め、イベントの安全確保に寄与 する活動を推進している。
事項	he he	• ++ □ /// ^ = ! -		-	. 			·価結果 続/現状維持		A-継続/現状維持	※前年度評価結果 A-継続/現状維持	※前年度評価結果 A-継続/現状維持	※前年度評価結果 A-継続/現状維持
世	第4	期総合計			度目標		1団体			1団体	1団体	1団体	1団体
		(継続有り	J)		<u> </u>				100%	100%			
					<u> 体達成</u>				20%	40%			
				事	業進捗状	況	$^{\diamond}$			***	$\triangle \triangle \triangle \triangle$	$\triangle \triangle \triangle \triangle$	$\Rightarrow \Rightarrow \Rightarrow \Rightarrow$

事業名 雄武町暴力追放	運動推進協議会補助事業		評価者 管理職 職氏名 評価者 作成者 職氏名	住民生活課長 住民活動係長	渡邊 孝司 南 慎一	平成24年度実施 平成25年度評価
■事務事業の目的・内容(P	Plan•Do)					
【誰、何が(対象)】	町民			望ましい指標(目的達成状況を 最も端的に表す理論上の成果指	暴力団が関係する事件の発生件数	
【抱える課題やニーズは】	イベントにおける暴力[団関係者の排除		指標(指標計算式/解説) ① 暴力団が関係する事件の	目標値及び 目標年度 目標値	実績値 平成24年度 0件
【どのような状態になることを 目指したのか(意図)】	を 町内において暴力団か	「活動できない環境をつくる。		発生件数	実績 値 達成 度 目標 年度	0 件 #DIV/0! % 年度
【その結果、どのような成果 実現したいか】 ※成果=目的	を暴力団が関与しない多	心な町を実現する。			目標 度 違 成 度	#DIV/0! %
	運営費補助金の交付		安定した組織運営を支援するた	め、運営費補助を行った。		
【内容(どのような手段で何る 行ったか】	<u>*</u>					
	機能重複や見直しによる対 義務的なもの	芯可能性) <mark>─</mark> 暴力団が関与しない安心な町	るか。当該事業を実施しない場合 「づくりを推進するうえで中心となる 安定運営のため必要な事業である。	B:ほぼ計画どおりに進んで C:当初の計画を達成できて D:事業効果が表れていない	る。目標が達成された。今後も計画通 いるが目標を達成していない。事業の いない。事業規模、内容、実施主体等 い。事業の統合、休・廃止の検討が必要	進め方に改善が必要 等 の見直しが必要 等 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
<mark>必要/概ね必要</mark> /課題あり	□ 全部□ 一部	_		<u>自己評価(一次評価)</u> A	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
(2)事務事業の有効性(期待				当初計画どおりに事業が実		
有効を表現しています。		■町内イベントへの暴力団関係 ■れている。 ■	者の関与は無く、十分な効果を得ら	施され、目標が達成された。		
<mark>✓課題あり</mark> (3)事務事業の効率性(コス		 ιたか、計画上のコストを下げる:	エ夫をしたか)	<u>'</u>		
	判断の理由 ☑ 事業費抑制 ☑ 人員削減	らず、イベント主催者と露店出て、目に見えない部分での貢	ら暴力団関係者を排除するのみなる は店者間の調整役(ゴミ処理等)とし献もある。また、会員から募った寄	今後の展開方向		
<mark>効率的/概ね効</mark> <mark>率的/課題あり</mark>	□ 時間短縮・作業軽減□ その他	□ 付金を活動資金の一部として ある。	いることから、事業費抑制の効果も			
(4)事務事業の公平性				継続/現状維持		
公平	判断の理由	■町全体を対象とした暴力団排 性は保たれている。	除運動を行っていることから、公平	町を実現するため、暴力団 排除運動に対する支援は今		
公平/概ね公平 /公平でない				後も必要である。		
■その他特記事項(アンケー	ート調査など外部評価を受	けた場合は、その旨記入)		,		
						見直し・変更

政策目標 4 <mark>うるおい・雄武~生活環境・生活基盤の充実~</mark>	会 計 区 分	1 <mark>一般会計</mark>	【全体計画内容】 ※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策 20 防犯・交通安全の推進	事業優先度	В	
単位施策 2 交通安全対策の推進	7		
事 業 名 ▼ 交通安全対策特別交付金事業	<u> </u>	2 単独自治事務(個別計画)	
事業期間 平成20年度~平成24年度	<u>見直し年度</u> 日 当 当 第	4 住民生活課	
事業主体 町		10 建設水道課	
事業指標「町道の区画線塗装、交通安全資機材の購入	関 係 課	#N/A	
事業目標 区画線塗装53,500m、スノーポール等購入600本	ハート・/ソフト 事業区分	1 <mark>ハード事業</mark>	
住民参加	関 係 例 規・法 令 名		交通安全対策特別交付金等に関する政令
住民協働	関係個別計画名	2 雄武町交通安全計画	

			全	ī .	計	画	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
		=	<u> </u>			<u>-</u> 容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容
計画	備を図にくくな識、カ	図ることを なった区i	特別交 [・] 目的とし 画線の塗 ー、デリ	付金に し、車両 を装や ネータ	より、 5通行 、スノ- 一の記	道路環境の整により視認し により視認し ーポール、標 と置を行う。	区画線塗装10,700m ※全体18,500m スノーポール等購入120本 ※全体290本	区画線塗装10,700m ※全体18,500m スノーポール等購入100本	区画線塗装10,700m ※全体18,500m スノーポール等購入100本 ※全体270本	区画線塗装9,000m ※全体18,500m スノーポール等購入100本	区画線塗装9,000m ※全体18,500m スノーポール等購入180本 ※全体270本
内											
容											
計	事		【 (千円])		5,700			1	,	
画	財		支出金			5,700	1,300	1,200	1,200	1,000	1,000
事	源		出金			<u> </u>					
業	内		<u>方 債</u>								
費	訳		の他								
	市		と財源	1)		E 0E0	1,300	1,000	1,200	1,000	1,150
実	事		聲(千円 支出金	3/		5,850 5,366		,	•	,	
績	財 源		<u>又山亚</u> z 出 金			5,300	1,114	1,080	1,130	1,000	1,008
事	▮源┝		方債								
業	内		の他			C					
費	訳		段財源			484	186	114	42		142
		定財源の	詳細等)			(実施内容等) 交通安全対策特別交付金を原	(実施内容等) 交通安全対策特別交付金を原	(実施内容等) 交通安全対策特別交付金を原	(実施内容等) 交通安全対策特別交付金を原	(実施内容等) 交通安全対策特別交付金を原
関連	交通多交付金	安全対策 金	特別		【評(価・実 績】	資とし、道路環境の整備を図り、 交通事故の減少に寄与している ものである。	資とし、道路環境の整備を図り、 交通事故の減少に寄与している ものである。	資とし、道路環境の整備を図り、 交通事故の減少に寄与している ものである。	資とし、道路環境の整備を図り、	資とし、道路環境の整備を図り、 交通事故の減少に寄与している ものである。
事							※前年度評価結果 A-継続/現状維持	※前年度評価結果 A-継続/現状維持	※前年度評価結果 A-継続/現状維持	※前年度評価結果 A-継続/現状維持	※前年度評価結果 A-継続/現状維持
項	第4	1期総合				度 目 標 値			塗装10,700m、ポール購入100本		
		(継続す	頁り)			度 達 成 率	100%	100%		100%	115%
						体達成率	23%	44%		82%	103%
					事	業進捗状況	$\Rightarrow \Rightarrow \Rightarrow \Rightarrow$	$^{\diamond}$	$\diamond \diamond \diamond \diamond$	$\Diamond \Diamond \Diamond \Diamond \Diamond$	☆☆☆☆

車 举 夕	泰通安全 対策特別泰社全事業	評価者 管理職 職氏名	住民生活課長	渡邊 孝司
争未石	义迪女主对束特加义的业争未	評価者 作成者 職氏名	住民活動係長	南(慎一)

平成24年度実施 平成25年度評価

■事務事	業のΕ	台。大	夾/p	an•Do
■ + 175 + 1	未ひノト		ι↔∖Γι	an Do

【誰、何が(対象)】	町民		望ましい指標(目的達成状況を 最も端的に表す理論上の成果指	区画線塗装総延長、スノーポーノ	レ購入本数	
【抱える課題やニーズは】	道路環境に起因する問題が交通事故発生要因のひとつ。	となっている	標) 指標(指標計算式/解説) ①	目標値及び実績値 目標年度 平成24年度 目標値 9000 m		
【どのような状態になることを 目指したのか(意図)】	路側帯やセンターラインの塗装、スノーポールや標識の認	设置により、道路環境を整備する	区画線塗装実績延長/区画線塗装計画延長	実 績 値 達 成 度 目 標 年 度	9000 m 100.0 %	
【その結果、どのような成果を 実現したいか】 ※成果=目的	交通事故の減少				平成24 年度 180 本 180 本 100.0 %	
	①道路区画線の塗装	町道をパトロールして区画線が薄くなり視認しにくい場所を確認するとともに、交通量を勘案したうえで塗装路線を選択 を行った。				
【内容(どのような手段で何を 行ったか】	②スノーポールの購入	冬期間に路肩に設置するスノーポールについては除雪作業等による損傷があるため、毎年購入して更新を行っている。				

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、・社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合 の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

-			<u> 主 後 、 </u>	<u>~, 16 (1.7)</u>
	必要	√		当事業の財源である交通安全対策特別交付金は、道路環境整 備を目的としたものであり、また町道の環境維持は道路管理者で
	必要/概ね必要	7	全部	ある町が行うべきものである。
	/課題あり		一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	近年の交通事故件数は低い水準で推移している。
行初		また、事業量についても破損や傷み具合に応じて実施しており、
有効/概ね有効	□ <mark>ほぼ達成</mark>	極端な増減は無い。
/課題あり	□ 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

(U) T 1/1 T /K U)	<u> </u>	
	判断の理由	道路延長は伸長傾向であるが、道路の交通量や傷み具合を勘案
効率的	□ 事業費抑制	して整備箇所に優先順位を設けるなど、原資である交通安全対
	□ 人員削減	策特別交付金を有効活用してコストに見合った効果が得られてい
効率的/概ね効	□ 時間短縮・作業軽減	ర్ .
率的/課題あり	√その他	

(4)事務事業の公平性

	判断の理由	道路は不特定多数が利用する公共性の高い社会基盤であること
公平	□ 受益者負担がある	から、公正性は保たれている。
	☑ <mark>受益者負担がない</mark>	
公平/概ね公平	□ 受益が一部に偏る	
/公平でない	□ その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

- A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
- B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
- C: 当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等

D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等 自己評価(一次評価) 評価会議評価(二次評価) 町長評価(三次評価)

Α		
計画どおりに事業が行われ、良好な道路環境が維持された。		
今後の展開方向 (Action)		
継続/現状維持		
円滑な交通の確保と交通事 故事故防止のため、今後も 計画どおり必要路線に対し て整備を継続する。		
※展開方向の区分 〇継続/現状維持又は 〇終了 〇休止	は拡充又は縮小又は統合又は内容 ○廃止	字の見直し・変更

政策目標 4 うるおい・雄武~生活環境・生活基盤の充実~	会 計 区 分	1 <mark>一般会計</mark>	【全体計画内容】※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策 20 防犯・交通安全の推進	事業優先度	В	
単位施策 2 交通安全対策の推進	政策事務分類	■ 3 単独自治事務(その他)	
事 業 名 興部地区交通安全協会連合会運営事業	<u> </u>	平成22年度	
事業期間 平成20年度~平成24年度	担当課	4 住民生活課	
事業主体町	関 係 課	#N/A	
事業指標団体の安定運営		#N/A	
事業目標 1団体	ハート・/ソフト 事業区分	2 <mark>ソフト事業</mark>	
住民参加	関 係 例 規・法 令 名		
住民協働	関係個別計画名		

		全	体	計	画		平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
		<u>工</u> 事	 業	内	<u>日</u> 容		事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容
画	雄て免活開※18名	地区交通安 可、興部町、 動団無いで、 運行のる。 下度から224 が減額する。	全協会連 西興部村 転免許記 の実施の リ、地域に	合会負打の2町 すの2町 正の各種 いほか、交 密着して	担金 1村で組織 申請手続 逐通安全 でいる活動	きや 8発 lを展	興部地区交通安全協会連合会 負担金	興部地区交通安全協会連合会	興部地区交通安全協会連合会 負担金	興部地区交通安全協会連合会 負担金	與部地区交通安全協会連合会 負担金
容											
≣ ∔	事		(千円)			3,450	721	698	677	677	677
計 画 事	財	国庫支				0					
事	財 源	道支出				0					
業	内	地方				0					
費	訳 -	その				0 450	701	200	677	0.77	077
		一般貝				3,450	721	698		677	
実	- 	未 貸 国庫支	(千円)			3,449	720	698	677	677	077
績	財 源	道支出				0					
事	▮源┝					0					
業	内	その				0					
費	訳	一般貝				3,449	720	698	677	677	677
関連	(特)	定財源の詳		【評(価・実	·	許更新時講習の実施のほか、 交通安全啓発活動を行ってお り、交通安全に寄与している。	許更新時講習の実施のほか、 交通安全啓発活動を行ってお り、交通安全に寄与している。	許更新時講習の実施のほか、 交通安全啓発活動を行ってお り、交通安全に寄与している。	許更新時講習の実施のほか、 交通安全啓発活動を行ってお り、交通安全に寄与している。	(実施内容等) 運転免許証の各種手続きや免 許更新時講習の実施のほか、 交通安全啓発活動を行ってお り、交通安全に寄与している。
事項							※前年度評価結果 A-継続/現状維持	A−継続/現状維持	※前年度評価結果 A-継続/現状維持	※前年度評価結果 A-継続/現状維持	※前年度評価結果 A-継続/現状維持
垬	第4	期総合計画			度目標		1団体	1団体	1団体	1団体	1団体
		(継続有り)		度達成		100%	100%	100%	100%	100%
					体達成		21%	41%	61%	80%	100%
				争	業進捗状	兀	***	***	***	***	***

事業名興部	地区交通安全	劦会連合会運営事業		評価者 管理職 職氏名 評価者 作成者 職氏名	住民生活課長 住民活動係長	渡邊 孝司 南 慎一	平成24年度実施 平成25年度評価
- = ** = ** o		5)		計画名 计成名 戦人名	住民活動徐安		十八八八十八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八八
■事務事業の目					望ましい指標(目的達成状況を	Г	
【誰、何が(対象	(t)]	町民			最も端的に表す理論上の成果指	地区交通安全協会連合会数、更	更新時講習受講者数
					<u>標)</u> 指標(指標計算式/解説)	日 煙 値 及	、び実績値
【抱える課題やこ	ニーズは】	会員数が減少しており	、自主財源が減少傾向にある。		(1)	目標年度	<u>マ成24 年度</u>
						目標値	1 団体
					団体の安定運営	実績値	1 団体
【どのような状態		 地域住民の利便性向	上や交通安全運動の推進のため、	運営に対する支援が必要。		達 成 度	100.0 %
目指したのか(意	意図)】						
					┛ ^② 運転免許更新対象者数	<u>目標年度</u> 目標	平成24 年度 1600 人
【その結果、どの	りような成果を	 安定 た運堂が図られ	ることにより、広域の交通安全活動	かの充実や 利田者の利便性を	(免許保有者数の25%)/		1069 人
実現したいか】		向上させる。			更新時講習受講者数		
※成果=目的 ————					※興部署管内全体	達成度	66.8 %
		 負担金の支出		 事業実施に要した経費に対して	負担全を支出した		
				事未关心に女はに経貨に対して	東圧並と文田した。		
【内容(どのよう	か手段で何た						
行ったか】	なすれて回る						
11.0.0.0							
の支障、既存	必要性(町民二	重複や見直しによる対応		か。当該事業を実施しない場合 動団体として、また免許証の各種	_ B:ほぼ計画どおりに進んて	いる。目標が達成された。今後も計 『いるが目標を達成していない。事 『いない。事業規模、内容、実施主	
必要		義務的なもの	手続きの代行窓口として地域住	民に必要な団体であることから、	D:事業効果が表れていなし	い。事業の統合、休・廃止の検討が	必要 等
必要/概ね必要		全部	その安定運営のため必要な事業	きである。	自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
/課題あり		一部			- - A		
(2)事務事業の	有効性(期待す	る効果が得られたか)			多くの町民が対象となる		
有効		目標値の達成状況	町内における運転免許証の各種				
		達成	─ ─ 催等によって町民の利便性が確	保されており、十分な事業効果を	体への補助であり、また団体側も運営コスト削減に取り		
有効/概ね有効 /課題あり		ほぼ達成 下回る	得られている。		組んでいるなど、効率的な運		
/ 訴題の9		「「四の			営が行われている。		
(3)事務事業の			したか、計画上のコストを下げるエラ		_		
#L ## ##		判断の理由	──年次計画を立てコスト削減(毎年				
効率的		事業費抑制 人員削減	町村の負担金額は減少している 競写真提影恵業も関始するなど		今後の展開方向		
効率的/概ね効		八貝削減 時間短縮·作業軽減	■ 限ラ具版影争未を開始するなと 保を図っており、効率的な運営が	、利便性の向上と自主財源の確 ぶ行われている	「今後の展開方向」(Action)		
率的/課題あり		その他		7 114240 60 00	(Accion)		
(4)事務事業の	公 平性				継続/現状維持		
(1) + 3) + 2 (1)		判断の理由	免許証保有者が活動対象の多く	(を占めるが、幼児や児童に対す	地区交通安全活動の推進と		
概ね公平	√	受益者負担がある	る交通安全啓発も行っており、根	現ね公平と判断される。	ともに、免許証更新事務関		
		受益者負担がない			係において町民へ利便性を		
公平/概ね公平		受益が一部に偏る			提供する団体であることか ら、引き続き支援を継続す		
/公平でない		その他			」 り、りさ続さ又抜を極続り る。		
■その他特記事	事項(アンケート	<u>調査など外部評価を</u> 受り	けた場合は、その旨記入)		_		
]		
					※展開方向の区分	は拡充又は縮小又は統合又は内容	恋の目店Ⅰ - 赤田
					■ □ ○継続/現仏維持文16 ■ ○終了 ○休止	は拡光又は縮小又は統合又は内 ○廃止	台の元旦し 及史
						- /··	

政策目標 4 うるおい・雄武~生活環境・生活基盤の充実~	会 計 区 分	1 一般会計	【全体計画内容】※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策 20 防犯・交通安全の推進 単位施策 2 交通安全対策の推進	事業優先度	В	
事 業 名 雄武町交通安全推進委員会補助事業	政策事務分類 見 直 し 年 度	3 単独自治事務(その他)	
事業期間 平成20年度~平成24年度	担当課	4 住民生活課	
事業主体 町 事業指標 交通人身事故発生件数	関 係 課	#N/A #N/A	
事業目標 0件	ハート・/ソフト 事業区分	2 ソフト事業	
住民参加 2 住民協働 2	関係例規・法令名 関係 個 別 計 画 名		

		全	体	計	画		平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
		—— <u>—</u> 事	<u>严</u> 業	内	<u>□</u> 容		事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容
計	雄武町 幼児、 図るた	ず 丁交通安全 丁の交通安 児童、高 にめ普及、見 等与する。	推進委 全に係 令者へ <i>の</i>	員会補助 わる住民)交通安全	カ の育成。 全思想の	並びに、 高揚を	雄武町交通安全推進委員会	雄武町交通安全推進委員会 補助	雄武町交通安全推進委員会 補助 ※児童用ヘルメット購入・貸与 (216個)	雄武町交通安全推進委員会 補助	雄武町交通安全推進委員会 補助 ※新入学児童分へルメット購入 (40個)
内											
容											
計	事		(千円)			3,110	370	370	1,294	538	538
画	財	国庫支				0					
画事	源-	道支				0					
業	内 -	<u>地方</u>				0					
費	訳 -	その				0					
		一般見				3,110	370	370		538	
実	事		(千円)			3,035	370	370	1,290	505	500
実績	財源	国庫支道 支				0					
事	源	地方				0					
業	内卜	その				0					
費	訳	一般!				3,035	370	370	1,290	505	500
	(特別	<u>ポーク</u> 定財源の詳				ŕ	(実施内容等) 町の交通安全運動団体の中心	(実施内容等) 町の交通安全運動団体の中心	(実施内容等) 町の交通安全運動団体の中心	(実施内容等) 町の交通安全運動団体の中心	(実施内容等) 町の交通安全運動団体の中心 となり、交通安全活動を推進して
関									となり、父迪女宝活動を推進して いる。(22年人身事故件数4件)		となり、父迪女王活動を推進して いる。(24年人身事故件数8件)
月				【評	価・5	実績】		にる。 (21年人身事故件数8件)	また、町内の小学生に自転車用	また、町内の小学生に白転車用	
連				L KHI	, mai	- 12.4 1	1 1 () T MII MVII /	New TASS TONI WALLY	ヘルメットを配布した。	ヘルメットを配布した。	
事							※前年度評価結果 A−継続/現状維持	※前年度評価結果 A−継続/現状維持	※前年度評価結果 A-継続/現状維持	※前年度評価結果 A-継続/現状維持	※前年度評価結果 A−継続/現状維持
項	第4	期総合計	画関連	年	度目 相	票値	0件	0件	0件	0件	0件
	<u></u> _	(継続有り			<u></u>		100%	100%	100%	94%	93%
					<u> </u>		12%	24%	65%	82%	98%
				事	業進捗	状況	$^{\diamond}$	$\star\star\star$	$\Rightarrow \Rightarrow \Rightarrow$	$\diamond \diamond \diamond$	☆☆☆

事 業 名 雄武町交通安全	推進委員会補助事業		評価者 管理職 職氏名 評価者 作成者 職氏名	住民生活課長 住民活動係長	渡邊 孝司 南 慎一	平成24年度実施 平成25年度評
■事務事業の目的・内容(P	······································					
【誰、何が(対象)】	町民			望ましい指標(目的達成状況を 最も端的に表す理論上の成果指	人身事故発生件数	
【抱える課題やニーズは】	人身事故や物損事故に	は減少傾向にあるものの、依然	として発生している。	指標(指標計算式/解説)	目標値及 目標年度 目標値	び 実 績 値 平成24 年度 0 件
【どのような状態になることを 目指したのか(意図)】	交通事故発生件数のる動の推進。	さらなる減少を図るため、各事業	業所等の組織による交通安全啓発活	人身事故発生件数	実 績 値 達 成 度	8件 #DIV/0!%
【その結果、どのような成果 [、] 実現したいか】 ※成果=目的		Tを実現するために交通安全啓	啓発活動の推進。	2	目標 年度 目標 値 実績 値 達成 度	年度 #DIV/0! %
	運営費補助金の交付		安定した組織運営を支援するた	め、運営費補助を行った。		
「内容(どのよ う な手段で何る 行ったか】	*					
■事務事業の評価(Check)				■総合評価【A~D】		
	ミニーズ、社会情勢に照ら 能重複や見直しによる対	芯可能性)	あるか。当該事業を実施しない場合	B:ほぼ計画どおりに進んで	いる。目標が達成された。今後も計画 でいるが目標を達成していない。事業	美の進め方に改善が必要 等
必要 □	義務的なもの		るため、全町挙げての交通安全への が、当委員会はその中心となる団体で	D:事業効果が表れていな	ていない。事業規模、内容、実施主体 い。事業の統合、休・廃止の検討が。	必要 等
[⊗] 要/概ね必要 ✓課題あり	□ 全部□ 一部	あることから、安定した組織:	運営のため本事業は必要である。	<mark>自己評価(一次評価)</mark> B	評価会議評価(二次評価) B	町長評価(三次評価)
2)事務事業の有効性(期待	きする効果が得られたか)			- ローロー ロー		
	た目標値の達成状況		ルメットの支給や各種街頭啓発事業	故が発生したため、警察署		
	 達成 ✓ ほぼ達成	──の実施により、交通事故の排 図られた。	印制と町民の交通安全意識の向上が	や各関係機関の協力により、幼児から高齢者まで幅広	.│	
/課題あり	下回る			い世代を対象とした各種啓	同左	
3)事務事業の効率性(コス	トに見合った効果が得られ	したか、計画上のコストを下げる	5工夫をしたか)	発活動を推進した結果、町 民の交通安全に対する意識		
	判断の理由	関係諸団体や警察と連携し	て事業を実施することで事業費抑制	の高揚が図られている。		
効率的	□ <mark>事業費抑制</mark> □ 人員削減	と人員の有効活用に努めて いる。	おり、効率的な事業展開が行われて	今後の展開方向		
効率的/概ね効	□時間短縮・作業軽減	V V 0		(Action)		
図的/課題あり	✓ その他			1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		
4)事務事業の公平性				継続/現状維持	継続/現状維持	
公平	判断の理由 □ 受益者負担がある	■町民全体の交通安全を目標 は保たれている。	として活動していることから、公平性	るため、継続して交通安全		
	□ 受益者負担がない			推進事業を推進する。		
<mark>☆平/概ね公平</mark> <u>/公平でない</u>]	同左	
■その他特記事項(アンケー		けた場合は、その旨記入)				
				W = ==		
				※展開方向の区分 〇継続/現状維持又(〇終了 〇休止	は拡充又は縮小又は統合又は内容 〇廃止	『の見直し・変更

政策目標 4 うるおい・雄武~生活環境・生活基盤の充実~	会計 区分	1 <mark>一般会計</mark>	【全体計画内容】 ※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策 20 防犯・交通安全の推進	事業優先度	В	
単位施策 2 <mark>交通安全対策の推進 </mark>	政 策 事 務 分 類	 3 <mark>単独自治事務(その他)</mark>	
事業期間平成20年度~平成24年度	見直し年度 田 当 理	┃	
事業主体町	関係課	#N/A	
事業指標 交通人身事故発生件数 事業目標 0件	ハート・/ソフト 事業区分	#N/A 2 ソフト事業	
住民参加・地域の亜切により姿材配在を行っている	関 係 例 規・法 令 名	2 // TA	
住民協働	関係個別計画名		

		全	体	計	画		平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
		<u></u> 事	<u>严</u> 業	<u></u> 内	<u>□</u> 容		事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容
	14 = b =	7			#						
計	各自注 域の	要望により	至全担 交通安全	当者で構 È資材の	構成しており、 配置や、新 <i>」</i> 才の配布を行	、各地 入学		雄武町交通安全協会補助金	雄武町交通安全協会補助金	雄武町交通安全協会補助金	雄武町交通安全協会補助金
画	いる。										
容											
計	事		(千円)			750	150	150	150	150	150
画	財	国庫支				0					
画事	源	道支				0					
業	内内	地方				0					
費	訳	その	他			0					
貝	١١/١	一般				750	150	150	150	150	
中	事		(千円)			750	150	150	150	150	150
実 績	B→	国庫支				0					
事	財源	道 支				0					
業	内	地方				0					
費	訳	その				0					
貝	١١,٠	一般	財 源			750	150	150	150	150	150
関連		定財源の記	詳細等)	【評	価・実		全啓発活動を実施している。	全啓発活動を実施している。	(実施内容等) 交通事故の減少のため、交通安 全啓発活動を実施している。 (22年人身事故件数4件)	(実施内容等) 交通事故の減少のため、交通安 全啓発活動を実施している。 (23年人身事故件数4件)	(実施内容等) 交通事故の減少のため、交通安 全啓発活動を実施している。 (24年人身事故件数8件)
事項		- 11 7 (0) A - 1					A−継続/現状維持	A-継続/現状維持	A-継続/現状維持	※前年度評価結果 A-継続/現状維持	※前年度評価結果 A-継続/現状維持
内内	第4	4期総合計			F 度 目 標 個					0件	0件
		(継続有り	り)		F 度 達 成 🗵		100%	100%	100%	100%	100%
					<u> 体達成率</u>		20%	40%	60%		
				-	事業進捗状況	rt	☆☆☆	**	***	$\Diamond \Diamond \Diamond$	* * *

古 米 力	ᄴᆃᄦᅕᄝᇊᄼᅒ	<u>ੑੑੑ</u>		評価者 管理職 職氏名		住民生活課長	渡邊 孝司	平成24年度実施
争耒名	雄武町交通安全協会	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		評価者 作成者 職氏名		住民活動係長	南慎一	平成25年度評価
■事務事業	業の目的∙内容(Plan	•Do)						
【誰、何が(町民				い指標(目的達成状況を 端的に表す理論上の成果指	人身事故発生件数	
【抱える課題	題やニーズは】	人身事故や物損事故は	減少傾向にあるものの、依然とし	て発生している。	1	標(指標計算式/解説)	目 標 年 度 目 標 値	び 実 績 値 平成24 年度 0 件
【どのようた 目指したの	な状態になることを)か(意図)】	交通事故発生件数のさ	らなる減少。		2	人身事故発生件数	実 績 値 達 成 度 目 標 年 度	8 件 #DIV/0! % 年度
【その結果 実現したい ※成果=E	、どのような成果を か】 目的	交通人身事故のない町	を実現する。				日 標 値 実 績 値 達 成 度	#DIV/0! %
		運営費補助金の交付		安定した組織運営を支援するた	:め、運	営費補助を行った。		
【内容(どの 行ったか】)ような手段で何を							
(1)事務事		ーズ、・社会情勢に照ら 重複や見直しによる対応			_	B:ほぼ計画どおりに進んで	る。目標が達成された。今後も計画 いるが目標を達成していない。事業	の進め方に改善が必要 等
必要 必要/概ね		義務的なもの 全部	交通事故の無い町を目指す上で あり、その実践団体の安定運営(では地域に根ざした活動が重要で なのため必要な事業である。			いない。事業規模、内容、実施主体 い。事業の統合、休・廃止の検討が 評価会議評価(二次評価)	
必要と概ね /課題あり		一部			╛╏	B	<u> </u>	可及計画(二次計画)
(2)事務事	業の有効性(期待す	る効果が得られたか)			- ∤	昨年に引き続き死亡交通事		
有効	設定した	目標値の達成状況	交通人身事故発生ゼロは達成で		7 I	故が発生したため、幼児か		
		達成	通安全運動に取り組むことにより			ら高齢者まで幅広い世代を 対象とした各種啓発活動を		
有効/概ね /課題あり		ほぼ達成 下回る	24年度中の事政宪生件数は右 故発生件数が減少傾向にある。	告干増加したが、中長期的には事		対象とした合性合充活動を 推進した結果、町民の交通	同左	
					-	安全に対する意識の高揚が		
(3) 事務事		「見合った効果が得られ」 判断の理由	<u>たか、計画上のコストを下げるエラ</u> 関係諸団体や警察と連携して事		- I	図られている。		
概ね効薬		事業費抑制			'		<u> </u>	
		人員削減	5500 200 500 500 700 700 700 700 700 700 700 7	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		今後の展開方向		
効率的/概 率的/課題		時間短縮・作業軽減 その他] .	(Action)		
(4)事務事	業の公平性					継続/現状維持	継続/現状維持	
公平	判断の理由		安全事業を実施していることか		交通事故の無い町を実現するため、事業を継続する。			
						同左		
			た場合は、その旨記入)		-			
	y HO 子 ス (/ ン /))	₩1日、6C/1. Hhttlmで入し	/こが口の、(ツロロバ)		7			
							拡充又は縮小又は統合又は内容 〇廃止	・変更

政策目標 5 さえあい・雄武~協働によるまちづくりの推進	会 計 区 分	1 一般会計	【全体計画内容】※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策 22 住民主体のまちづくりの推進 単位施策 1 地域づくり活動の促進	事業優先度	В	
事業名 自治会運営補助事業	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)	
事業期間 平成20年度~平成24年度	<u>見直し年度</u> 担当要	 4 住民生活課	
事業主体町		#N/A	
事業指標 自治会数 事業目標 35自治会	ハート・/ソフト 事業区分	#N/A 2 ソフト事業	
住民参加	関 係 例 規・法 令 名	- 221 1.55	
住民協働	関係個別計画名		

		全	体	計	画		平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
		<u></u> 事	<u>严</u>	<u></u> 内	<u>□</u> 容		事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容
	占いな			1,1	T					i	
計画	各自治	会運営補助: 台会の街灯だ 気料金、街灯 です。	施設の維			ため、街	自治会運営補助金	自治会運営補助金	自治会運営補助金	自治会運営補助金	自治会運営補助金
内											
容	事	業	(千円)			26,507	4,500	5,507	5,500	5,500	5,500
計		国庫支				20,307	4,300	3,307	3,300	J,300	3,300
画事	財	道支出				0					
	源	地方				0					
業	内		<u>度</u> 他			0					
費	訳	<u> </u>				26,507	4,500	5,507	5,500	5,500	5,500
	事		(千円)			25,598	4,625	5,506		,	
実績	 	国庫支				25,596	4,023	3,300	4,943	3,009	3,433
績	財	道支出				0					
事	財 源	地方				0					
業	内	その				0					
費	訳	<u> </u>				25,598	4.625	5,506	4.943	5,069	5,455
	/ d.+ -					20,000	,	,	,	,	
関連事		定財源の詳		【評	価・貧	钅 績】	に電気料の補助を行っており、 自治会運営の一助となっている 。電気料金の値上げにより増額。 (20年度中に6自治会が減少し、 現在は29自治会となっている。)	に電気料の補助を行っており、 自治会運営の一助となっている 。電気料金の値上げにより増額。	(実施内容等) 各自治会の街灯整備・維持並び に電気料の補助を行っており、 自治会運営の一助となっている。 ※前年度評価結果 A-継続/現状維持	に電気料の補助を行っており、	(実施内容等) 各自治会の街灯整備・維持並び に電気料の補助を行っており、 自治会運営の一助となっている。 電気料金の値上げにより増額。 ※前年度評価結果 A-継続/現状維持
項	第4	I期総合計画	画関連	年	度目標	票 値	35自治会	29自治会	29自治会	29自治会	29自治会
	<u></u>	(継続有り			度達成		103%	100%	90%		
		(4 m 420 13 7	•		体達成		17%	38%	57%	76%	
					業進捗				***	***	$\triangle \triangle \triangle \triangle$
					- 1		, . , .				

事業名自治	台会運営補助事	 業		評価者 管理職 職氏名	住民生活課長	渡邊 孝司	平成24年度実施
7 7 1 1				評価者 作成者 職氏名	住民活動係長	南(慎一)	平成25年度評価
■事務事業の	目的•内容(Plan	•Do)					
【誰、何が(対象	象)】	自治会			望ましい指標(目的達成状況を 最も端的に表す理論上の成果指	補助対象自治会数、一世帯当た	り運営費補助金
7七二フ細貼ん	·- ~'+1	点公人 拉点主的大江	まナーマいノウマ タノの奴隶だい	L. 7	指標(指標計算式/解説)	目標値及	び 実 績 値
【抱える課題や	ー人は】	日治会か日土的な活動	動をしていく中で、多くの経費がかた	かる。	1	目標年度	平成24 年度
					■ 補助金交付自治会数/街 対が設置されている自治会	<u>目標値</u> 実績値	29 団体 25 団体
【どのような状態 目指したのか(2	態になることを 意図)】	各自治会に対し自治会 会の円滑なる運営が図		より、自治会活動の活性化と、自治		達成度	86.2 %
					2	目標年度	平成24 年度
	のような成果を	各自治会が、コニュニ ・	ティづくりや安全で安心して暮らせ	るまちづくりの推進、及び行政等と	一世帯当たり運営費補助	目 標 値 実 績 値	2.8 千円 3.2 千円
実現したいか】 ※成果=目的			ついて、自律した活動を支援する		金	達成度	114.3 %
		①自治会運営費の補助	助	各自治会に対して運営費の補助	を行うことで、近隣相互の連帯感を	・ ・促進し、自治会活動を活発にする。	ა .
【内容(どのよう 行ったか】	うな手段で何を						
)必要性(町民二	.一ズ、・社会情勢に照ら 重複や見直しによる対応			_ B:ほぼ計画どおりに進んで	いるが目標を達成していない。事業	
必要		義務的なもの		して暮らせるまちづくりの推進、及 自治会の円滑な運営を図りため		「いない。事業規模、内容、実施主体 い。事業の統合、休・廃止の検討が!	
必要/概ね必要		全部	必要な事業である。	、日泊云の日用な建名を囚りたの	自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	か <u>ターサー</u> 町長評価(三次評価)
/課題あり		一部			A	Α	
(2)事務事業 <i>の</i>)有効性(期待す	る効果が得られたか)			地域の防犯環境を維持・向		
<u>下,于初于宋朝</u> 有効		目標値の達成状況	当事業により、地域住民相互の	連携、環境の整備等良好な地域	上するためには継続的な支		
		達成	社会が維持、形成されている。		援が必要であり、今後も計	同左	
有効/概ね有効 /課題あり		ほぼ達成 下回る			画どおり事業を進めることが 適当である。		
(3)事務事業 <i>0</i>			いたか、計画上のコストを下げるエ		.		
概ね効率的		判断の理由 事業費抑制		電気料相当額の補助であり、電気 きく反映されるため、事業費の抑	 		
194.10XXJ-1-113		人員削減	制は困難であるが、地域の防犯		今後の展開方向		
効率的/概ね効		時間短縮·作業軽減			(Action)	J	J
<u>率的/課題あり</u>	✓	その他					
(4)事務事業 <i>0</i>				A - 1851 - 1 11 T - 111	継続/内容の見直し・変更	継続/内容の見直し・変更	
概ね公平		判断の理由 受益者負担がある	■ 防犯対策の必要性が高い目治 ては全額補助するため、概ね公	会への補助であり、電気料につい	引き続き街灯の電気料相当 額、修繕経費、新設経費に		
		受益者負担がない	(は主観補助するだめ、 依ねる	千年は休だれている。	対する補助を行うものとする		
		受益が一部に偏る			が、電気料金の値上げが進	同左	
/公平でない		その他			んでいるため、事業をより一	问在	
■その他特記	事項(アンケート	調査など外部評価を受	けた場合は、その旨記入)		層効果的なものとするため、 防犯灯のLED化を促進す		
					る。 		
					※展開方向の区分 〇継続/現状維持又は 〇終了 〇休止	t拡充又は縮小又は統合又は内容 〇廃止	容の見直し・変更

政策目標 5 さえあい・雄武~協働によるまちづくりの推進	会 計 区 分	1 一般会計	【全体計画内容】※前期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策 22 住民主体のまちづくりの推進	事業優先度	В	
単位施策 1 地域づくり活動の促進	政策事務分類	 3 単独自治事務(その他)	
事 業 名 雄武町自治会連合会補助事業	見直し年度	0 平海口石手切((0)区)	
事業期間 平成20年度~平成24年度	担当課	4 住民生活課	
事業主体町	関 係 課	#N/A	
事業指標団体の安定運営	関 係 課	#N/A	
事業目標 1団体	ハード/ソフト 事業区分	2 ソフト事業	
住民参加 1 自治会連合会への加盟	関 係 例 規・法 令 名		
住民協働	関係個別計画名		

	全体	計画	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度
	事 業	内 容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事 業 内 容
計画	華 乗 雄武町自治会連合会補助 自治会相互の連携を図り、 生活の向上を図るもので、 増やし、行政と単位自治会 進する。 ※現在23自治会加盟。	事業 、その活動を通じて住民 今後加盟する自治会を		自治会連合会補助金	自治会連合会補助金	自治会連合会補助金	自治会連合会補助金
計画事	事 業 費 (千円) 財 <u>国庫支出金</u> 道支出金	1,250 0	250	250	250	250	250
事 業 費	内 その他 一般財源	0 0 1,250	250		•		•
実績事業	事業費(千円)財源内記大記大記大記大記	1,250 0 0 0	250	250	250	250	250
費	訳 一般財源	1,250	250	250	250	250	250
関連事	(特定財源の詳細等)	【評 価・実 績】	会の実態調査を行うなどの活動 を行っており、単位自治会の連 携・協力を推進している。 (現在22自治会加盟)	を行っており、単位自治会の連携・協力を推進している。 (現在22自治会加盟)	を行っており、単位自治会の連携・協力を推進している。 (現在22自治会加盟)	を行っており、単位自治会の連	会の実態調査を行うなどの活動
項	第4期総合計画関連		1団体	1団体	1団体	1団体	1団体
	(継続有り)	年 度 達 成 率 全 体 達 成 率	100% 20%	100% 40%	100%	100% 80%	100% 100%
				★★★		<u>80%</u> ☆☆☆☆	☆☆☆☆

事 業 名 雄武町自治会連行	合会補助事業		評価者 管理職 職氏名 評価者 作成者 職氏名	住民生活課長 住民活動係長	渡邊 孝司 南 慎一	平成24年度実施 平成25年度評価
■ 古 次 古 光 ふ 口 北 _ 土 亡 / □:	D)		T 脚沿 IF/从沿	工人/1判/示文		〒1兆25年度計址
■事務事業の目的・内容(PI				望ましい指標(目的達成状況を		
【誰、何が(対象)】	雄武町自治会連合会				自治会連合会数、連合会加盟率	
	. == +			<u>標)</u> 指標(指標計算式/解説)	日梅佰及	び実績値
【抱える課題やニーズは】	加盟率が3/4にとどまっ	っており、全自治会の集合体とはな	っていない。	(1)	目標年度	平成24 年度
				連合会加盟率	目 標 値	29 団体
どのような状態になることを		盟する単位自治会の集合体として、	地域づけの一翌を担う組織 は	加盟自治会/町内全自治	実 績 値	22 団体
、とのような状態になることを 目指したのか(意図)】	て機能する。	盆9 る単位日治会の集合体として、	、地域ラベッの一異を担う組織とし	会	達 成 度	75.9 %
	C IX RE 7 U o			2	目標年度	平成24 年度
【その結果、どのような成果?	\$			連合会加盟率	<u> </u>	1,943 世帯
実現したいか】)役として、行政との連携や自治会	間の問題解決を図る組織となる。	加盟世帯数/町内自治会 加盟全世帯数		1,723 世帯
※成果=目的				加血主造市致	達成度	88.7 %
	運営費補助金の交付		安定した組織運営を支援するた	め、連宮質補助を行った。		
/ナウ/ドゥ L こんてロー <i>ロナ</i>						
【内容(どのような手段で何を 行ったか】						
1 21213.1						
	ニーズ、社会情勢に照ら 能重複や見直しによる対応 義務的なもの		 互の連携と、その活動を通じて住	B:ほぼ計画どおりに進ん C:当初の計画を達成でき	いる。目標が達成された。今後も計画 でいるが目標を達成していない。事業 ていない。事業規模、内容、実施主作い。 い。事業の統合、休・廃止の検討が	業の進め方に改善が必要 等 本等の見直しが必要 等
必要/概ね必要	全部			自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	少安 · 守 町長評価(三次評価)
/課題あり	一部			Δ	A	
(2)事務事業の有効性(期待	まる効里が得られたか)			単位自治会の集合体として		
	た目標値の達成状況	単位自治会の集合体として複数の自治		地域づくり活動を担う組織と		
	☑ 達成		武会総会への参加等)を実施しており多また、コミュニティ組織の一員として様々	して機能するよう、引き続き		
有効/概ね有効	はぼ達成	──な活動に参加していることから、一定の		支援を継続すべきである。	同左	
<mark>/課題あり</mark>	□ 下回る			,		
(3)事務事業の効率性(コス		<u>いたか、計画上のコストを下げる工</u>		_		
柳春茶坊	判断の理由		単位自治会との交流により地域づ			
概ね効率的	□ 事業費抑制 □ 人員削減	くりに対する意識向上が図られた	5 .	今後の展開方向		
<mark>効率的/概ね効</mark> [□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	 		(Action)		
	✓その他					
(4)事務事業の公平性				継続/現状維持	継続/現状維持	
	判断の理由	各単位自治会の連合体として、	間接的に殆どの町民が加盟する		:	
公平	受益者負担がある	団体であり、また非加盟自治会	の市街地区敬老会へに参加も認	全町的な地域づくり活動へ		
	□ 受益者負担がない □ 受益者負担がない	<mark>_</mark> 」めている等、公平と判断される。		の期待を考慮し、今まで同様に運営費補助を行うことと	.	
公平/概ね公平 /公平でない		-			同左	
				- ' • '		
■その他特記事項(アンケー	-ト調査など外部評価を受	けた場合は、その旨記入)		,		
				※展開方向の区分 〇継続/現状維持又 〇終了 〇休止	<u>┃</u> は拡充又は縮小又は統合又は内? 〇廃止	Ⅰ 容の見直し・変更